

令和 7 年度主要施策成果報告書

新 城 市

令和 7 年度新城市主要施策の成果を次のとおり報告します。

令和 8 年 9 月 1 日

新 城 市 長 下 江 洋 行

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 1目 一般管理費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
行政課	地域安全対策事業 (特殊詐欺対策関係)	【事業の目的・内容】 近年全国的にも被害が拡大し、手口が多様化する特殊詐欺について、市内での被害を未然に防止するため、警察署と連携して、広報紙への記事掲載や防災無線放送等を通じて注意喚起を行ったほか、高齢者向けには対策機能付き電話機の設置補助を行った。 【成果】 市内の特殊詐欺被害の発生抑止 【成果指標】 ○特殊詐欺被害発生件数 令和6年1月～12月 5件 令和7年1月～12月 5件	円 509,000	円 508,400	円 0	円 221,050	円 0	円 0	円 287,350

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 7目 財産管理費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
資産管理課	普通財産管理事業	【事業の目的・内容】 行政目的が終了した公共施設等、普通財産のうち売却可能な資産について、必要に応じて土地の境界確定や不動産鑑定を実施した上で、適正な価格による売却処分を行い、財政基盤の強化を図る。 また、計画的な草刈りを行うことにより、普通財産の適正管理に努めた。 【成果】 普通財産となった新城武道場跡地の境界確定や不動産鑑定を令和8年度公募開始に向けて実施した。また、定期的に普通財産の草刈りを実施し、適正管理に努めた。 【成果指標】 ○売却処分（目標値の設定 過去5年の実績値×1.1） 目標値：令和7年度 8件 （令和6年度 8件） 実績値：令和7年度 10件 （令和6年度 6件） 内訳は下記 ・公募による売却 1件（11,261,040円） 水道加入負担金68,040円含む ・赤道等払下げ 9件（4,951,883円）	円 4,523,000 【当初】 3,600,000 【補正】 923,000 (うち再配当) 1,466,895	円 2,975,366	円 0	円 0	円 0	円 752,430 (内訳) 【土地・建物賃貸料】 728,996 【気象観測所用地管理委託金】 20,000 【集会所等火災保険料】 3,434	円 2,222,936

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 7目 財産管理費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
資産管理課	公共施設マネジメント推進事業	【事業の目的・内容】 将来の人口減少・財政見通し・公共施設の老朽化といった課題を踏まえ、既存の公共施設の縮充・長寿命化・有効活用により維持更新費用を縮減し行政サービスの存続を図ることを目的に、公共施設等総合管理計画に基づき長期的（30年間）な視点を持って公共施設の適正配置・計画的保全に取り組む。 また、公共施設等総合管理計画の実施計画として公共施設個別施設計画により中期的視点（基本10年間）で公共施設の最適配置や長寿命化等に取り組む。 令和9年度から取り組む個別施設計画（第2期）策定にかかる計画策定等支援業務の委託契約（3か年の継続事業）の2か年目で市民参画をより一層図るため、ワークショップ等を開催した他、民間提案制度を活用し廃校の利活用について公募を行った。 情報整理として、保全計画システムのシステム運用環境保守及び情報管理を実施し、施設管理及び計画策定で活用できるよう整備した。	円 33,893,000 【当初】 11,092,000 （うち継続費） 9,977,000 【通次繰越】 66,000 （R6～R7） 【(R7～R8)補正】 22,735,000 （うち繰越明許） 22,735,000 （全額繰越明許）	円 10,866,420 【当初】 10,800,420 （うち継続費） 9,900,000 【通次繰越】 66,000 （R6～R7） （全額繰越明許）	円 0	円 0	円 0	円 0	円 10,866,420
								(予算内訳) 7,800,000 （公共施設除却債） 14,935,000 （公共施設管理基金繰入金）	

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 2項 徴税費 2目 賦課徴収費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
税務課	固定資産評価替事業	【事業の目的・内容】 固定資産の評価は「適正な時価」を課税標準として課税するもので、3年毎に評価額を見直す制度がとられている。評価替とは、資産価値の変動に対応して、固定資産評価額を適正で均衡のとれた価格に見直す作業である。 令和9年度評価替えの価格調査基準日である「令和8年1月1日」現在の地価を反映し、固定資産税土地評価を見直す。 この作業に必要となる調査・整備業務は3年間に渡り、令和9年度評価替に向け「令和6年度～令和8年度」を一つのスパンとして作業を進める。 【成果】 今回の評価替事業では、令和8年1月1日現在の価格を決定するため不動産鑑定士による標準宅地の鑑定評価を行った。（413地点） また高圧線下にある土地について高圧線下補正を適用するため対象筆の抽出を行った。（5,292筆）	円 49,200,000	円 48,108,918	円 0	円 0	円 0	円 0	円 48,108,918

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 2項 徴税費 2目 賦課徴収費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
税務課 債権管理室	徴収管理事業	【事業の目的・内容】 基幹システム標準化に合わせた連携システムの標準化対応を行った。 会計年度任用職員を雇用して、文書（未納明細書）による納付催告を実施した。 滞納整理事務を共同処理する東三河広域連合徴収課の事業費を負担するとともに、同課へ高額・困難滞納事案（滞納繰越分）を移管した。 【成果】 令和7年度は市県民税（普通徴収）・法人市民税のシステム改修を実施し、住民サービスの向上（オンライン手続きの拡充等）が図られた。 文書による納付催告は、納付履行に限らず、納付相談や納付指導に繋がる取り組みとなった。 東三河広域連合へ移管した滞納繰越分の収納率は、専従職員による滞納整理により市の滞納繰越分の徴収率を上回る成果を挙げた。 【成果指標】 ○標準化対応実施税目数 目標値：令和7年度 2税目 （令和6年度 該当なし） 実績値：令和7年度 2税目 （令和6年度 該当なし） ○文書催告後の収納額 目標値：令和7年度 36,000千円 （令和6年度 36,000千円） 実績値：令和7年度 62,369千円 （令和6年度 32,291千円） ○東三河広域連合移管案件の徴収率（本税） 目標値：令和7年度 36.00% （令和6年度 46.50%） 実績値：令和7年度 49.41% （令和6年度 42.18%）	円 25,354,000	円 24,030,740	円 0	円 0	円 0	円 0	円 24,030,740

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 9款 消防費 1項 消防費 3目 災害対策費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
防災対策課	高度情報通信ネットワーク管理事業	【事業の目的・内容】 愛知県高度情報通信ネットワークの新たな衛星通信規格への対応や高速大容量化に対応することを目的に愛知県と協定書を締結し、通信設備及び機器を整備する。令和7年度、令和8年度の2か年事業である。 【成果】 老朽化した既存設備を刷新し、新たな通信規格となる第3世代地域衛星通信ネットワークを導入することで災害時における防災関係機関の通信インフラを安定供給することができる。 【成果指標】 ○工事出来高 目標値：令和7年度 17,292,590円(70%) 実績値：令和7年度 17,292,590円 令和8年7月7日付けで愛知県により完了検査実施済。	円 17,650,000	円 17,292,590	円 0	円 0	円 17,200,000	円 0	円 92,590

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 1目 一般管理費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
秘書人事課	新城市制20周年記念事業	【事業の目的・内容】 本市は令和7年10月1日に市制20周年を迎えたことから、この大きな節目を市民の皆様とともに祝い、また市内外へ広く20周年をPRするため、令和7年10月4日（土）に新城文化会館大ホールにおいて記念式典を開催した。 記念式典開始前に新城・鳳来・作手地区の20年を振り返る記念動画を放映し、式典オープニングは長篠陣太鼓・こども陣太鼓、市内在住書道家潤玲鳳氏による書道パフォーマンスを行い、功労者等表彰の後、観光大使マデカルラブリー村上氏のトークショー、そして最後はしんしろ星の子合唱団による合唱を行った。 【成果】 式典には市内外から994人の来場があり、20周年という節目を市民の皆様とともに祝い、また広くPRすることができた。また、式典の最後はしんしろ星の子合唱団が作った「きらめけ☆しんしろ」を来場者とともに合唱することにより、会場一体感を出すよう工夫した。 【成果指標】 ○式典来場者数 目標値：令和7年度 1,000人 （令和6年度 ー） 実績値：令和7年度 994人 （令和6年度 ー）	円 2,894,000	円 2,163,851	円 0	円 0	円 0	円 1,081,925 (みんなのまちづくり基金) 200,000 寄附金	円 881,926

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 9目 企画費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
政策企画課	総合計画策定事業	【事業の目的・内容】 令和8年度に策定する第2次新城市総合計画後期基本計画に関連して、市民ニーズ等を把握するための市民満足度調査を実施した。 【成果】 各分野における満足度だけではなく、4,000人を対象として実施したため、公共施設のあり方や本市の魅力、物価高騰の現状に対応するための支援など市政運営に関する項目についても市民の方のニーズや現状などを把握することができた。	円 3,193,000	円 1,801,563	円 0	円 0	円 0	円 0	円 1,801,563

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 9目 企画費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
政策企画課	ふるさと納税推進事業	【事業の目的・内容】 ふるさと納税制度を活用し、歳入の拡充や地域振興を図るため、返礼品の充実や、令和7年度より新しいポータルサイトの導入を実施した。 また、前年度に寄附をしていただいた方へお礼の手紙を送付し、リピーター確保に努めた。 【成果】 ポータルサイトを新たに導入したこと、また、前年度に返礼品として提供した人気の返礼品が通年提供となったことで寄附額の増加につながり、寄附者から指定のあった使途へ充当することができた。 【成果指標】 ○ふるさと納税寄附額 目標値：令和7年度 60,000千円 (令和6年度 48,000千円) 実績値：令和7年度 56,394千円 (令和6年度 41,965千円)	円 29,661,000	円 25,473,873	円 0	円 0	円 0	円 12,736,936 (みんなのまちづくり基金)	円 12,736,937

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 9目 企画費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
政策企画課	移住定住O S I 事業	【事業の目的・内容】 移住定住者を確保し、地域コミュニティの維持と人口減少の抑制を図るため、「発信する」「確保する」「調査する」の3本柱で様々な取組みを実施した。 ・「発信する」…本市を知っていただくために、首都圏で開催される移住イベントへの参加やSNSを活用したシティプロモーションを実施した。 ・「確保する」…交流人口から関係人口、後に移住定住者の確保へと繋げるために移住イベントへの参加やSNSを活用したシティプロモーションを実施した。また、移住に必要となる『住まい』の確保として空き家利活用促進に努めた。 ・「調査する」…移住希望者や移住者への聴き取りを実施し、施策へと繋げた。 【成果・成果指標】 ・「発信する」… SNS (Instagram) フォロワー数：3,930人 (R7：1,982人/年増加) ・「確保する」… 移住希望者からの相談件数：183件(R6：176件) ・「調査する」… 転入窓口アンケート結果を参考にシティプロモーションに役立てた。	円 2,306,000	円 1,798,021	円 300,000	円 150,000	円 0	円 599,010 (みんなのまち づくり基金)	円 749,011

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 9目 企画費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
鳳来地域課	鳳来総合支所周辺整備事業	【事業の目的・内容】 跡地の利活用を図るため令和7年8月末を工期とし、旧鳳来総合支所等の解体工事を開始した。令和6年度末の段階で旧鳳来総合庁舎及び旧鳳来総合支所の建屋の解体は完了し、開発センターも基礎の一部を除き解体が完了した。 令和7年度は、既存擁壁の撤去、敷地造成等を行い工事を完了した。 【成果】 跡地活用のため「鮮魚を取り扱う店舗、又は生鮮食料品を含む商業施設の機能を備える施設」を条件とした、公募型プロポーザル方式による募集を令和7年10月に行ったが、応募する事業者はなかった。 そのため、利用条件を設けず幅広く民間利用の可能性を調査する為にサウンディング型市場調査の募集を令和8年2月から開始した。 【成果指標】 ○旧鳳来総合支所等解体工事 目標値：令和7年度 進捗率100% (令和6年度 進捗率61%) 実績値：令和7年度 進捗率100% (令和6年度 進捗率73%)	円 108,252,000	円 104,802,148	円 0	円 0	円 0	円 104,792,000 (公共施設管理基金)	円 10,148
		内訳： ・通次繰越分 13,448,000 ・現年度分 94,804,000		内訳： ・通次繰越分 13,448,000 ・現年度分 91,354,148				内訳： ・通次繰越分 13,448,000 ・現年度分 91,344,000	

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 9目 企画費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
情報政策課	自治体D X推進事業	【事業の目的・内容】 「市民の利便性向上」と「業務効率化による職員負担の軽減」の両立を図るため、本市の実情に合ったD X推進に取り組んだ。 R P Aの導入業務拡大については、コンサルタント事業者による伴走型のシナリオ開発レクチャーや月2回のR P A相談会を実施した。 窓口業務改革ではおくやみ手続を中心に業務改革を実施し、おくやみ手続の予約制を開始した。また、必要な手続や持ち物が確認できるおくやみハンドブックの全面見直しやおくやみ手続ナビを導入した。 その他、各種手続のオンライン申請の拡充、生成A Iの業務利用拡大を図った。 【成果】 R P Aにおいては、新たに7課13業務においてシナリオが作成され、年間100. 5時間の業務時間が削減された。 窓口業務改革においては、手続にかかる時間を転入では38%削減、おくやみでは36%削減した。 【成果指標】 ○R P Aにより業務効率化に取り組んだ累積業務数 目標値：令和7年度 20業務 (令和6年度 15業務) 実績値：令和7年度 47業務 (令和6年度 34業務)	円 16,992,000	円 16,391,511	円 0	円 0	円 0	円 0	円 16,391,511

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 1目 一般管理費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市民自治推進課	多文化共生事業 (市国際交流協会の支援に要する経費及び外国語相談窓口に要する経費)	【事業の目的・内容】 令和6年度から令和10年度までの5か年を計画期間とする 新城市多文化共生推進プランに基づき、「コミュニケーション支援」「生活支援」「意識啓発と社会参画支援」の3つの柱を掲げ多文化共生の推進を図った。 市役所1階に外国人相談窓口を開設し行政手続きの円滑化を図ったほか、多文化共生の推進主体である新城市国際交流協会に対し運営に係る経費を補助した。 【成果】 外国人相談窓口では年間1,408件の相談があり、迅速に担当課へ繋ぐことができた。外国人向けに実施している市民生活満足度調査で市役所手続は高い満足度(84.0%)となっている。 また、日本語教室、交通安全講座、教育・マナープラン講座、多国籍運動会などを国際交流協会と協働委託事業で実施し、日本人市民と外国人市民が地域社会で共生するまちづくりの推進が図られた。 【成果指標】 ○外国人市民の市民生活満足度 目標値：令和7年度 73.0% (令和6年度 72.0%) 実績値：令和7年度 76.68% (令和6年度 78.06%)	円 9,436,000	円 9,368,799	円 2,153,653 (外国人受入環境整備交付金)	円 0	円 0	円 7,215,146 (多文化共生基金)	円 0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 1目 一般管理費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市民自治推進課	ニューキャッスル会議共同 声明実現事業 (ニューキャッスル・アライアンス会議(ラトビア) 派遣経費)	【事業の目的・内容】 2年に一度開催されるニューキャッスル・アライアンス会議がラトビアのヤンピルスで開催され、代表者会議の他、高校生・大学生の7人がユース会議に参加した。 1 ニューキャッスル・アライアンス会議inラトビア ・開催期間 8/8(木)～8/15(金) ・派遣者 一般会議：3人 ユース会議：7人 2 アライアンス海外派遣報告会 ・開催日 11/8(土) ・参加者 40人 ※ 加盟都市との共同プロジェクト ①6/16 Race for Peace(イギリス、スイス) 31人 ②8/8～15 アライアンス会議inラトビア ③11/5～11 海外友好都市ユース議会受入 1,469人 ④10/21～11/14 ニューキャッスル展(情報カフェ) ⑤11/8 ニューキャッスルの日を祝う会 ⑥オンライン理事会 5都市参加 ⑦ニューキャッスル本棚設置(ふるさと情報館) ⑧ニューキャッスル・ニュースレター発行 年4回 【成果】 派遣参加者が報告会や若者議会のイベントなどで成果を発信するとともに、国際社会や地域課題への関心を深め、継続的にまちづくりに関わる人材として成長する機会を創出した。 【成果指標】 ○ニューキャッスル・アライアンス加盟都市との共同プロジェクト数 目標値：令和7年度 5件 (令和6年度 5件) 実績値：令和7年度 8件 (令和6年度 8件)	円 3,931,000	円 3,654,466	円 0	円 0	円 0	円 3,654,466 (多文化共生基金)	円 0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 9目 企画費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市民自治推進課	自治基本条例運用事業 (市長選挙立候補予定者公開政策討論会開催に要する経費及び自治基本条例の運用に要する経費)	【事業の目的・内容】 市民が主役のまちづくりを推進し、元気に住み続けられ、世代のリレーができるまちを協働してつくることを目的とする新城市自治基本条例の運営事業として、市長選挙立候補予定者公開政策討論会、市民まちづくり集会、女性議会及び市民自治会議を開催した。 【成果】 参加者が地域活動の担い手として活躍するなど、市民主体のまちづくりの推進が図られた。 1 市長選挙立候補予定者公開政策討論会 ・開催回数：2回 ・来場者数： ア 第1回 166人 イ 第2回 163人 ・Y o u T u b e 視聴者数（10月27日時点）： ア 第1回 2,096回 イ 第2回 1,254回 2 市民まちづくり集会 ・テーマ： ゲームで発見！？～公共施設の未来とは？～ ・参加者数：73人 3 女性議会 ・参加者数：4人 4 市民自治会議 ・開催回数：6回 ・内容：地域自治区制度について 【成果指標】 ○地域活動を実施している人の割合 (市民まちづくり集会事前アンケート) 目標値：令和5年度基準値 41% (令和12年度目標値 55%) 実績値：令和7年度 41% (令和6年度 48%)	円 3,478,000	円 1,793,102	円 0	円 0	円 0	円 1,793,102 (みんなのまちづくり基金)	円 0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 9目 企画費費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市民自治推進課	若者が活躍できるまち実現事業 (10年を経過した若者議会の見直しと検証に要する経費)	【事業の目的・内容】 新城市自治基本条例の目的である「市民が主役のまちづくりを推進することで、元気に住み続けられ、世代のリレーができるまち」を実現するため、新城市若者条例に基づき、若者が地域活動や市政等のあらゆる場面で活躍できる環境を整備する。 令和6年度の第10期若者議会からの答申により、「若者政策10周年記念事業」と「第2次新城市若者総合政策の策定」を実施した。 【成果】 1 第2次新城市若者総合政策の策定 ・計画期間 令和8年度～令和17年度 ・パブリックコメント 5/16～6/16 ・冊子印刷 1,000部（わきやっぴ祭等で配布） 次の10年に向けた事業展開の足掛かりとした。 2 若者政策10周年記念イベント「わきやっぴ祭」開催 ・開催日 11/8（土） ・参加者 700人 ・会場 新城文化会館 はなのき広場 ・内容 ・市外団体発表（豊橋市、富田林市） ・海外友好都市若者議会発表（イギリス、ドイツ、スロバキア、スイス） ・新城市若者議会10年の成果報告 ・インフルエンサー「100円娯楽（税抜）」講演 ・ワークショップ など 若者議会の10年の振り返りと10年先を考えるイベントを全国・世界の幅広い若者を交えて開催し、多くの若い市民の関心を得た。 【成果指標】 ○新城市に住みたいと回答した人の割合 （若者議会アンケート） 目標値：令和7年度 50% （令和6年度 48%） 実績値：令和7年度 45% （令和6年度 48%）	円 4,085,000	円 3,612,787	円 0	円 2,221,000	円 0	円 0	円 1,391,787

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 16目 地域自治区費

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市民自治推進課	地域自治区地域活動交付金事業	地域の課題解決等に向け、地域住民による活動への支援を行う事業。 新城地区 申請 45件 採択 45件 鳳来地区 申請 34件 採択 29件 作手地区 申請 13件 採択 13件 計 申請 92件 採択 87件 新城地区 予算額 19,229,000円 交付額 13,331,000円 鳳来地区 予算額 8,249,000円 交付額 7,425,000円 作手地区 予算額 2,522,000円 交付額 1,223,000円 計 予算額 30,000,000円 交付額 21,979,000円	円 30,000,000	円 21,979,000	円 0	円 0	円 0	円 21,979,000	円 0
	【地区別内訳】								
	【新城地区】	新城 申請 8件 採択 8件 千郷 申請 8件 採択 8件 東郷 申請 12件 採択 12件 舟着 申請 6件 採択 6件 八名 申請 11件 採択 11件 新城地区 申請 45件 採択 45件 合計交付金額 13,331,000円(予算額 19,229,000円)	3,569,000 6,405,000 5,202,000 1,000,000 3,053,000 19,229,000	3,477,000 3,951,000 3,432,000 724,000 1,747,000 13,331,000	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	3,477,000 3,951,000 3,432,000 724,000 1,747,000 (みんなのまちづくり基金)	0 0 0 0 0 0
	(新城地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：こどもとおとな 地域つながるプロジェクト 団体名：みんなのわ 東新町 ■新型コロナの流行で子ども会活動が中止になり、その後完全に消滅、子どもたちは学校外の体験・地域活動の機会を失うこととなった。この課題を解決するため、地域における子どもたちの活動の場を再構築し、新しく保護者や地域の力を借りた子ども会活動をスタートし、地域とつながることを目的に活動を開始した。 ①ドローン体験 学校の授業では体験できないドローンの機能や活用方法など、新しい知識を学び子どもたちが自分の興味・世界を広げる機会を提供した。新城小で開催。 ②もちつき会 社会的交流の減少や、伝統文化の学習の機会が限られており、中でももちつきは日本の伝統を体験できる貴重なイベントとして意義を持つ。もちつきを通じて伝統文化を学ぶことができた。	360,000	287,000	0	0	0	287,000	0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
		③豆まき会 コロナ禍以降、大勢で集まって一つのことを楽しむ機会が減っているため、豆まきを実施した。豆まきをする理由や由来を学ぶことができた。 ④公民館開放 地域の子どもたちと交流できる場を提供し、世代間のつながりを促進した。子どもたちには安全で楽しい活動場所を、大人には地域とのつながりを深める機会を提供した。 【成果】 公民館を中心に、子どもが集まり遊べる場を定期開催した。毎回30人程度の子どもと保護者が参加し他行政区からの来場者もあるなど、学年に関係なく交流し遊ぶ場の提供ができた。 子どもたちが友達を誘ってきてくれて、口コミで参加者が増えてきた。放課後の時間を友達との交流で全身動かして遊んでいる。活動を重ねていくと、他の活動団体とのつながりができた。子どもを核に大人が活動でつながっていく、地域全体で子育てをする、活気づけされることにつながっていくことが実感できた。							

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	(千郷地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：地域活性化推進プロジェクト実施事業 団体名：team Chisato（チームちさと） ■千郷地域の課題として、地域住民同士の交流不足が挙げられており、現在、地域では三世代交流が図られるような地域全体での催しが少ないことから、顔の見える関係づくりや、仕組み構築を推進することが必要とされた。そこで、地域の様々な世代の方に呼び掛け（※比較的年齢の若い方々に呼び掛け）を行い、地域交流や活性化、また、地域に活気が戻るような活力ある催しの、企画から実施に至るまで、積極的に活動しようという有志により、令和6年度に新規に団体が設立された。地域計画に基づき、千郷地域全体の老若男女が集い楽しみ交流促進を活発化することで、地域の活性化が図られる活動の推進を図ることができた。 ①ちさと納涼夏祭りの開催 ②ちさと夜桜ライトアップ大作戦の開催 ①『第2回ちさと納涼夏祭り』の開催 【活動日時】令和7年7月26日(土) 12:00～21:00 【活動実施場所】千郷中学校運動場 千郷小学校一部校内・西部公民館 【活動実施内容】各種出店(キッチン含む)／きもだめし／盆ダンス／各種余興／全力鬼ごっこ／リアル謎解きゲーム／マッチングGOGO／Sバス(ちさと線)乗車体験 他 【来場者数】約3,100名 ②『ちさと夜桜ライトアップ大作戦』の開催 【活動日時】令和8年3月16日(月)～31日(火) 毎日18:30～21:00 【活動実施場所】千郷小学校正門及び運動場の一部 【活動実施内容】千郷小学校の桜の一部をライトアップ 【来場者数】千郷地域自治区内外より約750名 【成果】 令和6度の来場者2,500人を超える来場者数となり、地域住民や地域外の方々会場に来場し、地域在住の外国人も出店や来場していただけた。また、令和7年度は本活動に中学生・高校生ボランティアが活動に賛同し数多く関わっていただき、自主的に催しを盛り上げようとして取り組んでいただけた。また、地域自治区管内の各種企業の協力・出店が得られたことも印象的であった。更なる活動として、千郷小学校の校庭にある桜のライトアップを実施、地域住民の反響も大きく「楽しめた」、「今後も継続して活動して欲しい」などの声も多くいただくことができ、地域の交流促進・活性化を図れた。	722,000	722,000	0	0	0	722,000	0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	(東郷地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：みんなで減災プロジェクト ～小さな行動、大きな安心～ 団体名：東郷の防災を考える会 ■令和6年に起きた能登半島地震を機に、行政頼みの防災ではなく、地域住民が共に助け合い自主的に防災活動を推進していくことが被害の減少に繋がると考え、東郷地域の防災力を高めることを目的に活動を実施した。 ①東郷中学校防災講演会 佐藤敏郎氏を講師に招き、防災講話を実施。 東郷中学校の生徒・保護者および東郷地区の一般住民など約300名が参加。 ②防災ファイル配付事業 東郷地域の全戸へ「無事です」クリアファイルを配布。 ③「防災バッグ作り」「防災トイレットペーパー積み」「東郷学び学校」において体験型プログラムを実施。 ④HUG（避難所運営ゲーム）研修 豊川特別支援学校のPTA活動の一環として実施。 【成果】 一連のイベントを通じて、東郷地域の多くの住民に防災の重要性を深く理解していただくことができた。また各種取り組みを通して「東郷の防災を考える会」の活動内容を広く周知することにも繋がった。 さらに、昨年度実施したHUG（避難所運営ゲーム）の実績が評価され、他地域においても再び研修を実施する機会を得ることができた。	476,000	455,000	0	0	0	455,000	0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	(舟着地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：ビオトープ並びに花畑整備事業 団体名：鳥原ビオトープの会 ■鳥原児童館東側にある「四季の花園」、「水辺のふろさと（ビオトープ）」を整備し、児童や幼児の好奇心を育み、自然と共生する中で豊かな心の醸成を目的に事業を実施した。 ①花畑にコキア・サツマイモ・レンゲを栽培し、育ったサツマイモの芋掘りを地元こども園の園児と行った。 ②舟着こども園園児や舟着小学校児童との交流(れんげ畑、生き物観察で来園、サツマイモの芋掘り)、草刈り(年5回実施)、「つながる地域と若者の輪(若者議会提案事業)」によるビオトープの保全活動を実施した。 【成果】 舟着こども園園児を招いたイベント（芋掘り等）では、世代を超えた交流の機会が生まれた。また定期的にビオトープの管理をしたことで住民間の交流機会が増えた。	134,000	134,000	0	0	0	134,000	0
	(八名地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 団体名：八名地域の防災を考える会 ■八名の行政区単位ではなく、八名全体としての活動を行うため、避難所である八名中学校への防災用備蓄の整備を行い、地域の要となる中学生と共に防災・減災について学び実行するために防災学習を継続して実施した。 宿泊での炊き出し訓練や防災ピクニックなどを通じ非常時でも行動できるように、あらゆることを想定しながら訓練を実施した。 会議 91名 防災備品チェック 9名 炊き出し訓練 86名 防災学習会 50名 宿泊炊き出し訓練 24名 八名中防災フェス 150名 防災を考える会 73名 【成果】 八名地域で防災減災に特化した団体が発足し、様々な活動を行うことで八名全体に防災意識が高まった。	296,000	289,000	0	0	0	289,000	0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	【鳳来地区】	鳳来中部 申請 9件 採択 7件	1,806,000	1,798,000	0	0	0	1,798,000	0
		鳳来南部 申請 7件 採択 5件	1,298,000	1,229,000	0	0	0	1,229,000	0
		鳳来東部 申請 13件 採択 12件	2,778,000	2,673,000	0	0	0	2,673,000	0
		鳳来北西部 申請 5件 採 択 5件	2,367,000	1,725,000	0	0	0	1,725,000	0
		鳳来地区 申請34件 採択29件	8,249,000	7,425,000	0	0	0	(みんなのまちづくり基金)	0
		合計交付金額 7,425,000円 (予算額8,249,000円)							
	(鳳来中部地域自治区)	【主な事業の目的・内容】	291,000	291,000	0	0	0	291,000	0
		■乗本万灯の麦を作る事業 団体名：乗本万灯の麦を作る会 調達が困難となっている乗本万灯の原料（麦）を試験的に栽培。収穫した麦藁は万灯で活用し、麦芽はクラフトビールを製造して、乗本万灯及び本活動のPRとして各種イベントなどで配布した。 【成果】 昨年度種まきした麦がしっかり成長し、万灯で使うことが出来た。 クラフトビールも製造でき、パッケージのイラストや文字を地域住民にデザインしてもらうなど、地域ぐるみで製造できた。乗本万灯や鳳来中部文化祭などの会場で配布し、多くの方に祭りや麦づくりをPRすることができた。							

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	(鳳来南部地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：災害に備える体制の強化 団体名：山吉田防災士の会 ■地域防災士の組織化と自主防災会との連携により、防災意識の向上と地域防災力の強化を図る。 ①発災時対応図上演習会の開催 【開催日】令和7年7月12日（土） 【実施場所】黄柳川小学校 【参加者】防災士、各自主防災会役員、一般住民 【内容】災害による孤立を想定し図上演習会を実施。 講演会と活動班別の災害シミュレーション訓練を行った。 ②避難所運営実技訓練 【開催日】令和7年11月30日（日） 【実施場所】黄柳川小学校 【参加者】防災士、各自主防災会役員、一般住民 【内容】自主防災会応急手当班、炊き出し班による実技訓練を実施した。また児童向けプログラムを検討した。 【成果】 山吉田防災士の会を中心に、自主防災会間の連携を深め災害時の協力体制確立に向けて大幅に前進した。また、図上演習や、実技訓練により知識とスキルを身につけることができ、地域防災力向上に効果が得られた。	139,000	139,000	0	0	0	139,000	0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	(鳳来東部地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：開校50周年記念行事を核に東陽小学校へ地域の方を呼び寄せよう事業 団体名：東陽小学校PTA ■学校行事に地域の方を招待しみんなで競技等を行うことで東陽小学校を地域の小学校と認識いただくことを目的とする。 ①航空写真撮影 【開 催 日】令和7年6月6日（金） 【内 容】航空写真の撮影およびクリアファイル、リーフレットの作成及び配布 ②運動会 【開 催 日】令和7年5月24日（土） 【内 容】50周年記念種目として誰でも参加可能なリレーを実施 ③ふるさと教室 【開 催 日】令和7年9月27日（土） 令和8年1月17日（土） 【内 容】学区巡り、虎童子、木工教室など10講座開設例年1回のところを冬にも実施した。 ④学校公開 【開 催 日】令和7年6月26日（木）、 令和7年12月11日（木）、令和8年1月30日（金） 令和8年2月14日（土） 【内 容】学校公開日に地域の方に子どもたちの頑張る姿を確認いただいた。（マラソン大会、なわとび大会、50周年記念行事） ⑤学習発表会 【開 催 日】令和7年11月15日（土） 【内 容】50周年に因んだ内容を入れた劇、音楽の発表 ⑥50周年を祝う会 【開 催 日】令和8年2月14日（土） 【内 容】文集の展示、6年生による創作劇の披露を行った。 ⑦感謝の手紙送付 【開 催 日】令和8年3月9日（月）～24日（火） 【内 容】50周年記念関連行事を通してお世話になった方々に感謝の手紙送付。 【成果】 今後も学校行事に地域の方を招待することで「子どもや孫がいないので学校と疎遠になっている」という地域課題を解決するための足掛かりとなった。	300,000	300,000	0	0	0	300,000	0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	(鳳来北西部地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 ■ 共育ふれあい活動 団体名：鳳来寺小学校PTA 放課後活動として、プログラミング、ダンス、食育、お茶、花遊び、ふるさとウォーク、芸術、スケートボード、写真、ダーツ、あみもの、卓球などの活動を放課後及び休日に実施した。 【成果】 毎週月・木曜日に定期的に活動を行うことで、市内中心部に行かなくても豊かな学びの機会を得ることができている。また、放課後に学校内で友達と共に活動ができ、保護者も安心して仕事が行え、子育て支援に繋がっている。更には、地域行事と連携したり、親子で講座に参加するなど、学校を拠点とした地域の多世代間の交流が生まれている。	448,000	448,000	0	0	0	448,000	0
	【作手地区】 (作手地域自治区)	作手地区 申請13件 採択13件 合計交付金額 1,223,000円 【主な事業の目的・内容】 事業名：みんなでまちづくり！ど元気！つくで！実行促進事業 団体名：ど元気！つくで！推進委員会 ■ 第2次作手まちづくり計画が策定されるのを機に、住民に計画の周知を徹底し、住民が地域の課題を自分事として捉え、課題解決に向けての参画意識を高めていく活動を目的とした。今年度は、合言葉「ど元気！つくで！」のロゴマーク作成と、計画で課題となっている林業と防災に取り組んだ。 ■ ロゴマーク作成、地域協議会での承認。 園小中学生、商店、公共施設へ配布しPRを依頼。 森林・林業講座・ワークショップの開催。 防災に関する協議の開催。 【成果】 作手地域のロゴマークを活用し、まちづくり計画の周知を図ることができた。また、まちづくり計画で地域課題となっている森林・林業については、現状や課題を認識でき、また防災については会員内での協議により課題を深堀りでき、今後の活動に繋がるものとなった。	2,522,000	1,223,000	0	0	0	1,223,000 (みんなのまちづくり基金)	0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 16目 地域自治区費

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市民自治推進課	地域自治区予算事業	市民の声を的確に市の事業に反映し、地域課題を効果的に解決する事業。 新城地区 実施事業数 53事業 鳳来地区 実施事業数 51事業 作手地区 実施事業数 12事業 計 116事業 新城地区 事業費 36,541,000円 (30,662,487円) 鳳来地区 事業費 21,287,000円 (16,197,837円) 作手地区 事業費 7,492,000円 (4,912,212円) 計 65,320,000円 (5,1772,536円) 【地区別内訳】	円 65,320,000	円 51,772,536	円 0	円 0	円 0	円 0	円 51,772,536
	【新城地区】	新城 14事業 千郷 8事業 東郷 10事業 舟着 9事業 八名 12事業 計 53事業	5,950,000 13,039,000 8,470,000 2,327,000 6,755,000 36,541,000	4,972,037 12,234,491 5,077,598 1,959,228 6,419,133 30,662,487	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	4,972,037 12,234,491 5,077,598 1,959,228 6,419,133 30,662,487
	(新城地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：防災専門部会運営事業（継続事業） 新城地域自治区において、9行政区がそれぞれ自主防災会を有しているが、その9行政区を横断した組織が無く、課題（避難所運営等）について話し合う組織も無かった。地域が自ら運営する組織を立ち上げるため、その必要性を感じ機運を高めるため「防災を考える会」を開催した。 【成果】 「防災を考える会」では、避難所の現地確認や避難時に使用する段ボールベッドなどの資機材の体験などを実施した。そこから横断的な組織の必要性に理解を示した住民が中心となり組織立ち上げの準備会が発足、地域住民により9行政区をまたぐ組織設立に向けての話がまとまり、令和8年6月発足予定となった。本事業の予算は、当初協議会内では会議に用いる消耗品費を想定し予算計上したが、防災を考える会は消耗品を使用することなく会議を実施したため、予算は未執行となった。 【成果指標】 9行政区の横断的な防災組織の設立と運営	10,000	0	0	0	0	0	0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 16目 地域自治区費

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	(千郷地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：市単独林道事業（継続事業） 本市として森林施業に必要な道としてのみではなく、多様な目的で利用され重要な役割を担っている林道雁峰線について、側溝保護設置工事を実施し、良好な施設管理と地域住民による維持管理の負担軽減、更には地域住民の安全・安心を確保した。 実施路線名：林道雁峰線 側溝保護工（間伐パネル）設置 R7年度施工延長 L=279m（徳定・片山地内） ※R4年度からの累計施工延長 L=1,473m 【成果】 設置完了した路線部においては、良好な施設管理が図られ、併せて住民による維持管理の軽減が図られた。 【成果指標】 全体事業実施計画（総施工計画延長）L=2,211m （臼子・山・杉山・徳定・片山地内） 事業実施期間 R4～R9（6ヵ年計画） 毎年度上限予算額5,000千円の範囲内において推進を図る ※残計画施工延長 L=738m ・本事業は、実施計画どおり推進し事業完了ができる見込み。	5,000,000	4,999,500	0	0	0	0	4,999,500
	(東郷地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：地域活動団体紹介冊子作成事業（新規事業） 東郷地域で活動している団体を紹介し、地域の団体・魅力的な活動や人・新しいアイデアの発見と新たな団体の洗い出しと人材の発掘を目的に冊子を作成した。地域協議会や区長会、東郷地域への回覧などで掲載募集を実施した結果、11団体から掲載依頼があったため冊子にまとめ東郷地域全域に配布した。 【成果】 今回の冊子発行予定があれば掲載して欲しいとの声を複数いただけたことから、団体の活動内容を地域内で知っていただくことができた。ただ、地域で活動している団体はもっとあるため、周知方法を検討するなどして、さらに多くの団体を掲載し活動内容の認知度を高め団体間の連携など活動の活性化に繋げていく。	297,000	137,610	0	0	0	0	137,610

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 16目 地域自治区費

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	(舟着地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：舟着茶話会事業（継続事業） 舟着地域が今まで以上に住みやすい地域となるよう、地域住民が意見を出し合い地域づくりへの意識向上と意思統一を図ることを目的に茶話会を実施した。令和7年度は46人が参加した。 【成果】 令和7年度は住民の地域活動の視点から“集う場所（拠点）”について話し合うことができた。公共施設の活用などについて関係課と連携しながら、舟着地域住民が考える“集う場所”の検討を行うための基礎資料が得られた。	46,000	19,465	0	0	0	0	19,465
	(八名地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：道路維持事業（継続事業） 市道萩平野川大田線及び市道一畝田黒田線は、土木課（作業班）が随時道路清掃作業を実施しているが、夏には雑草が繁茂して歩道が通行困難になる場所が複数あるため、歩行者などが安全に通行できるように道路清掃作業（除草・伐採含む）を追加し7月～8月頃を目途に実施した。 除草・伐採工 7,120㎡、路面清掃工 3,000㎡ 【成果】 通勤や通学の歩行者の通行安全を確保することができた。	2,200,000	2,090,000	0	0	0	0	2,090,000
	【鳳来地区】	鳳来中部 14事業 鳳来南部 10事業 鳳来東部 14事業 鳳来北西部 13事業 計 51事業	3,910,000 3,295,000 7,216,000 6,866,000 21,287,000	3,445,380 2,939,124 5,418,238 4,395,095 16,197,837	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	3,445,380 2,939,124 5,418,238 4,395,095 16,197,837

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 16目 地域自治区費

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	(鳳来中部地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：地域活動保存事業（新規事業） 長篠の戦い450年及び長篠合戦のぼりまつり60回を記念した記録誌を1,500部作成し、各戸配布などによる周知及び活動記録を保存した。 【成果】 記録誌作成には、のぼりまつり奉賛会や中学生など、地元地域住民の多くの方が関わることで、地元の大切な行事であることの認識を深めてもらった。また、完成した記録誌は鳳来中部地域内への各戸配布や鳳来地区内の小中学校へ配布するなど広く周知を図ると共に、新城図書館などへ納め記録として保存したことにより伝統行事継承の一助となる。	150,000	149,600	0	0	0	0	149,600
	(鳳来南部地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：地域人材育成事業（継続事業） 災害発生時の対応や、鳳来南部地域の防災力向上を目的として、地域のリーダーとなる防災士を育成した。令和7年度は1名が防災士資格取得講座を受講した。 【成果】 平成30年度からの継続事業で、これまで16人の防災士を育成した。また、令和5年度からは防災士の会が地域活動交付金で防災力強化に向けた活動を実施しており、地域主体の防災活動の活性化に効果が出ている。	158,000	69,156	0	0	0	0	69,156
	(鳳来東部地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：観光地混雑緩和推進事業（継続事業） 慢性的な駐車場不足となっている乳岩周辺の混雑緩和のため、湯谷温泉大駐車場に臨時駐車場を設け、三河川合駅まで無料シャトルバスを運行した。 【成果】 21日間の運行で604人の利用があった。 乳岩周辺に駐車場がないことの周知及び混雑の緩和に寄与することができた。	1,870,000	1,801,800	0	0	0	0	1,801,800

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 16目 地域自治区費

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	(鳳来北西部地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 事業名：高齢者生きがいづくり事業（継続事業） 鳳来北西部地内の80歳以上の方を対象に、鳳来寺地区、鳳来西地区、海老地区に分かれ10月ごろ高齢者の生きがいづくりとして外出支援を実施した。	1,024,000	497,204	0	0	0	0	497,204
		【成果】 地域内の交流が少ない中、参加者同士の交流が来ている。また、買い物支援としても実施しているため、独居の方などの満足度も高い。							
		【成果指標】 令和6年度から3年を目途に実施中。							
	【作手地区】	作手 12事業	7,492,000	4,912,212	0	0	0	0	4,912,212
	(作手地域自治区)	【主な事業の目的・内容】 ■観光施設等整備事業 継続事業 地域資源である城跡等を巡る散策コース「歴史の小径」の老朽化した案内看板を更新することで、作手の魅力を発信し、観光客のさらなる増加を図った。 案内看板4基更新。	371,000	370,876					370,876
		【成果】 観光資源の案内機能を向上させることで、地域の歴史や文化への理解促進と周遊性の向上に繋がった。また、統一感のある案内表示に更新したことで、地域イメージの向上、及び観光客の満足度向上に寄与した。							
		【成果指標】 看板更新（H30～R7）完了							

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費 1目 戸籍住民基本台帳費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
市民課	戸籍住基管理事業 (戸籍振り仮名記載)	【事業の目的・内容】 戸籍及び住民基本台帳の作成及び管理事務、住民票、戸籍証明等の発行事務、市民の身分事項事務並びに戸籍届出に付随する人口動態事務に係る業務。 戸籍法改正により、令和7年5月26日から戸籍に氏名の振り仮名を記載する制度が始まり、戸籍に記載する振り仮名をハガキにて通知。併せてマイナポータルを利用したオンラインでの振り仮名届出受理や窓口での届出受理を行った。 また、国が進める戸籍標準化準拠システム導入に伴い戸籍システム及び附票システムの改修を行い、改修後の稼働テストや様式変更、連携確認作業等を行った。 【主な委託業務】 戸籍振り仮名記載に必要な委託業務 ・ 戸籍情報システム振り仮名職権記載機能開発業務 ・ 戸籍の振り仮名通知書印刷業務及び通知書発送業務 ・ 戸籍の振り仮名記載に係るコールセンター等人材派遣業務 ・ 戸籍情報システム改修業務（標準化） ・ 附票システム改修業務（標準化） 【成果指標】 ○振り仮名届出件数 R7.5.26～R8.5.25 241件 ○戸籍届出件数 R7実績値 1,157件 (R6実績値 1,229件)	円 43,136,000	円 30,738,532	円 8,080,000	円 0	円 0	円 0	円 22,658,532

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 9目 環境衛生費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
環境政策課	温暖化対策推進事業	【事業の目的・内容】 新城市地球温暖化対策実行計画で定めた温室効果ガスの削減目標を達成し、第2次新城市環境基本計画の環境ビジョンの実現に向けた施策を実施していく。 令和7年度においては、災害時の電源確保対策を目的として、新城中学校に太陽光発電設備等を設置した。また、市内に事業所を持つ民間事業者で電気自動車等を購入する者に対し補助金を交付した。	円 94,792,000	円 85,254,000	円 38,429,000	円 0	円 38,400,000	円 0	円 8,425,000
		【成果】 蓄電設備を備えた避難所数が増えるとともに、合わせて年間388.19t-CO2の削減効果が見込まれる。また、電気自動車等においては新たに2社の防災協力事業所の登録と1社の登録変更が行われ、新城市の防災強化が図られた。							
		【成果指標】 ○公共施設への太陽光発電装置及び蓄電池設置数 目標値：令和7年度 6箇所 (令和6年度 6箇所) 実績値：令和7年度 3箇所 (令和6年度 2箇所)	(内訳) 93,592,000	84,304,000	38,429,000	0	38,400,000	0	7,475,000
		○電気自動車等購入台数 目標値：令和7年度 3台 (令和6年度 5台) 実績値：令和7年度 3台 (令和6年度 2台)	1,200,000	950,000	0	0	0	0	950,000

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 10目 しんしろ斎苑費

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
生活環境課	斎苑整備事業	【事業の目的・内容】 経年劣化による施設の不具合等で、火葬執行に支障をきたさないようにするため、平成29年3月に策定した長寿命化計画に基づき、施設整備に関する工事を実施した。 【成果】 工事内容は、火葬施設設備等修繕工事、中央制御装置更新工事を行い、施設の安定稼働と長寿命化を図った。 【成果指標】 ○施設の安定稼働 R7目標値:100% (R6目標値:100%) R7実績値:100% (R6実績値:100%) ○長寿命化計画の進捗 (事業費ベース) R7目標値:51% (R6目標値:44%) R7実績値: 39% (R6実績値:35%)	円 21,692,000	円 20,999,000	円 0	円 0	円 0	円 0	円 20,999,000

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 2項 清掃費 3目 クリーンセンター費

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
生活環境課	クリーンセンター整備事業	【事業の目的・内容】 ごみ処理施設の適正な運転、維持管理を継続するため、平成24年5月に策定した廃棄物処理施設長寿命化計画及び長寿命化計画を踏まえた中長期整備計画に基づき、施設整備に関する工事を実施した。 施工計画・工法等を精査して工事費を抑えるとともに、廃棄物の受け入れに支障をきたさないように工程や施設の運転状況をしっかりと管理しながら施工した。 工事内容は、昨年度から繰越工事となっていたシーケンサー更新工事を実施した。なお、焼却炉耐火物取替工事、ストーカ落下灰コンベア及び白煙防止用空気予熱器落下灰コンベア更新工事、非常用発電機更新工事、排出コンベヤ更新工事は、設備の製作に時間を要すること等の理由により令和8年度へ繰り越しを行った。 【成果】 施設の安定稼働と長寿命化を図った。 【成果指標】 ○施設の安定稼働 R7目標値:100% (R6目標値:100%) R7実績値:100% (R6実績値:100%) ○長寿命化計画の進捗 (事業費ベース) R7目標値:77% (R6目標値:73%) R7実績値:65% (R6実績値:64%)	円 435,731,000	円 61,730,810	円 0	円 0	円 33,200,000	円 0	円 28,530,810

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 2款 総務費 1項 総務管理費 12目 路線バス運行費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				一般財源
					特 定 財 源				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
公共交通対策課	公共バス運行事業	【事業の目的・内容】 新城市と設楽町を結ぶ重要幹線「田口新城線」は、令和4年度の調査で国の補助認定要件（1日輸送量15人）を下回り、存続が危機的状況となった。これを受け「新城市・北設楽郡地域公共交通利便増進実施計画」を策定し、路線の維持確保と利用促進に向けた以下の活性化施策を展開した。 ①路線の再編・集約と経路の抜本的見直し 運行経路が一部重複していた「四谷千枚田新城線」を統合・廃止し、利用者を一本化することで効率化と輸送量の確保を図った。また、近接する工業団地（有海企業団地）や住宅団地、新城富永への乗り入れを新たに実施した。 ②運賃体系の見直し（ゾーン制運賃の導入） これまでの長距離移動に伴う距離制運賃による負担感を解消するため、乗車エリアに応じた定額感覚で利用できる「ゾーン制運賃」等へと移行し、他路線との運賃是正を図った。 【成果】 重複路線の統合とニーズに沿った運行見直しにより、無駄のない効率的な体制を構築し、広域幹線の安定輸送基盤を確立。ゾーン制運賃の導入で広域移動の割高感を抑え、高齢者の通院や学生の通学など日常移動の負担を軽減。ハード・ソフト一体の改革により利便性・快適性が向上し、路線の継続と持続可能な地域公共交通の維持に繋がった。 【成果指標】 ○田口新城線 利用者数 目標値：R10 49,512人（新城市地域公共交通計画） 実績値：R7 47,233人（※令和6年10月～令和7年9月） R6 47,187人（※令和5年10月～令和6年9月）	円 51,088,000	円 51,088,000	円 0	円 0	円 0	円 0	円 51,088,000

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 3款 民生費 1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費

所 属 名	主 要 施 策 の 事 業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
福祉課	住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金給付事業	【事業の目的・内容】 政府により策定された「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を踏まえ、物価高対策のための低所得世帯支援として給付金を支給した。 住民税非課税世帯支援給付金 【令和7年1月専決】 基準日：令和6年12月13日 対象世帯：令和6年度住民税非課税世帯 ①支給額：一世帯当たり現金3万円 ②加算額：同一世帯に18歳以下の児童がいる場合は、1人あたり2万円を加算する。 期限：令和7年6月30日 【成果】 ・低所得世帯の支援強化：住民税非課税世帯に3万円を給付し、物価高騰の影響を軽減。生活費の負担が緩和され、安心感が向上。 ・児童家庭への支援：18歳以下の児童1人あたり2万円を加算することで、子育てや教育費の負担を軽減。児童の生活環境が安定。 ・心理的な安心感：経済的な困窮を軽減し、対象世帯の生活への不安を減少させた。 【成果指標】 ①対象世帯の支援人数および支給額 対象世帯数：令和6年度住民税非課税世帯のうち支援を受けた世帯数523世帯。 支給総額：16,950,000円（基本給付金3万円＋18歳以下児童の加算を含む）。 ②児童加算の支援人数および支給額（①に含む） 加算を受けた児童人数：63人（18歳以下）。 加算総額：1,260,000円	円 55,205,000	円 22,181,453	円 22,181,453 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)	円 0	円 0	円 0	円 0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 3款 民生費 2項 老人福祉費 1目 老人福祉費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
高齢者支援課	地域支え合い事業	【事業の目的・内容】 在宅のひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、寝具丸洗い・乾燥・消毒、緊急通報装置の設置、日常生活用具の支給等、日常生活を援助し、福祉の増進を図るものである。 令和7年度から聴力低下によりコミュニケーションがとりにくく、日常生活上に支障がある高齢者に対し、閉じこもりにならないよう高齢者の外出及び地域交流等を支援し、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、新たに軽度難聴高齢者に対し補聴器購入に係る費用の助成を開始した。 【成果】 在宅のひとり暮らし高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、日常生活を援助し、福祉の増進を図った。令和7年度より軽度難聴高齢者に対し、補聴器購入に係る費用の助成を行った。これにより、コミュニケーションが容易となり、自分らしく暮らし続けることにつながった。 【成果指標】 寝具丸洗い 111件 (R6 128件) 緊急通報装置設置 146件 日常生活用具支給 1件 軽度難聴高齢者補助金申請 7件 (3万円を上限)	円 12,157,000	円 10,408,320	円 0	円 0	円 0	円 0	円 10,408,320

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 3款 民生費 2項 老人福祉費 1目 老人福祉費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
高齢者支援課	市民後見人育成事業	【事業の目的・内容】 認知症や精神疾患等で判断能力の低下がある方を支援するため、市民向けに成年後見人育成研修を行い、成年後見制度を支える担い手を養成した。 【成果】 成年後見制度に係る基礎知識や実務に関する知識を学び、制度を支える担い手を輩出することができた。 【成果指標】 ○受講者数 目標値：令和7年度 20人 (令和6年度 20人) 実績値：令和7年度 12人 (令和6年度 7人)	円 1,039,000	円 1,036,986	円 0	円 513,000	円 0	円 0	円 523,986

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 3款 民生費 2項 老人福祉費 4目 介護保険事業費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
高齢者支援課	認知症高齢者等見守りネットワーク事業	【事業の目的・内容】 徘徊等により行方不明になった認知症高齢者等の早期発見・保護及び保護した身元の判明しない認知症高齢者等の身元照会等を行い、高齢者が安心して生活できる環境を整備することを目的とし、新城市高齢者見守りネットワークに事前登録を行った徘徊の可能性がある高齢者に対し、衣類や杖等に貼り付け可能なQRコードを配布し、行方不明時の早期発見を図れるよう努めた。 【成果】 徘徊等により行方不明になった認知症高齢者等の早期発見・保護及び保護した身元の判明しない認知症高齢者等の身元照会等を行い、高齢者が安心して生活できる環境を整備し、行方不明時の早期発見を図れるよう体制を確保した。 【成果指標】 QRコード配布者数 7人	円 102,000	円 101,200	円 0	円 0	円 0	円 101,200	円 0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 3款 民生費 3項 児童福祉費 4目 子ども医療費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
保険医療課	市子ども医療費助成事業	【事業の目的・内容】 高校生年代の入院、小中高校生年代の通院に係る医療費の一部を助成し、子どもの健康の保持・増進と、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。令和7年度より、資格変更申請のオンラインでの受付を開始し、子育て世帯の利便性向上を図った。 【成果】 高校生年代までの子どものいる家庭の保護者の経済的負担が軽減し、子どもたちが安心して治療を受けることができる効果があった。 【成果指標】 助成実績 (市単) 対象者数 令和7年度 3,609人 (令和6年度 3,705人) 助成件数 令和7年度 45,865件 (令和6年度 41,029件) 助成金額 令和7年度 106,946,306円 手数料 1,471,340円 (令和6年度 92,311,872円 手数料 1,330,098円) 1人当たり助成額 令和7年度 29,633円 (令和6年度 24,915円) ※令和6年10月診療から、通院医療費の対象を高校生年代までに拡大 (子ども医療費全体) 令和7年度 対象者数 4,820人 助成件数 65,576件 助成金額 150,666,694円 1人当たり助成額 31,258円	円 111,033,000	円 108,417,646	円 0	円 0	円 0	円 0	円 108,417,646

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 3款 民生費 3項 児童福祉費 13目 児童福祉施設整備費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
こども未来課	こども園再編・整備事業 (千郷地区新設園建設事業)	【事業の目的・内容】 「新城市こども園再編・整備計画」に基づき、千郷地区新設園建設のため、基本計画・基本設計業務（繰越明許）、土地評価等業務（繰越明許）、用地測量業務、登記調整業務、地質調査業務、埋設管試掘調査を実施した。 【成果】 基本計画・基本設計の業者選定をプロポーザル方式により決定した。また、建設予定地に係る各業務を実施し、用地取得に向けた準備を整えた。	円 40,543,000	円 16,102,925	円 0	円 0	円 14,200,000	円 0	円 1,902,925
	(新城こども園改修事業)	【事業の目的・内容】 「新城市こども園再編・整備計画」に基づき、東郷東こども園に整備していた療育機能（統合保育）を新城こども園に機能移転するため、実施設計業務を行った。 【成果】 落ち着いて課題に取り組むことのできる個別課題室や、体を動かしながら感覚や道具の使い方などを楽しむ運動室等を設置し、自主性・主体性を高め、安心して自分を表現できる保育環境整備に向けた準備を整えた。	4,850,000	3,234,000	0	0	2,900,000	0	334,000
	(長篠こども園改修事業)	【事業の目的・内容】 「新城市こども園再編・整備計画」に基づき、鳳来・山吉田こども園の閉園後の入園先として、長篠こども園の駐車場整備を実施した。 【成果】 砂利敷で未整備の駐車場を整備し、轍による危険性や水たまりなどの悪環境を改善し、安全・安心な環境が確保された。	4,950,000	4,730,000	0	0	0	0	4,730,000

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 3款 民生費 3項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
こども家庭センター	児童虐待等防止事業 (ひきこもり支援推進)	【事業の目的・内容】 「つながりの困窮」に陥り、ひきこもり状態が長期化しないよう、組織の縦割りの壁を越えて、市長部局、教育部局、社会福祉協議会等関係機関が義務教育終了後の支援のあり方について検討するため「新城市不登校生徒移行支援会議（実務者、個別ケース検討会議）」を開催する。 ・学校から挙げられるケースについて、関係機関が情報収集に基づく分析と評価を行い、援助方針等を協議する。なお、令和5年度より実務者会議については臨床心理士の同席を求め、専門家による意見を参考にしながら、より効果的な方針を模索する。 ・義務教育終了後も日頃から子ども達に接する立場である高校と連携し、必要に応じて支援につなげられるようネットワーク化を図る。また、検討したケースのフォローも併せて実施する。 【成果】 ・実務者会議3回（検討ケース実9件）、個別ケース検討会議6回（情報共有を含めた検討ケース延べ141件）開催した。 ・市教育委員会以外の支援機関につなぐことができた実件数は9件であった。 【成果指標】 R7目標値 不登校生徒移行支援検討件数 10件（R6目標値 10件） 支援につながった件数 5件（R6目標値 5件） R7実績値 不登校生徒移行支援検討件数 59件（R6実績値 36件） 支援につながった件数 9件（R6実績値 9件）	円 80,400	円 80,400	円 40,200	円 0	円 0	円 0	円 40,200

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 4目 母子保健費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
こども家庭センター	すこやか子育て事業	【事業の目的・内容】 令和7年度は、市制20周年を記念し新城市への愛着醸成のため、R7年生まれの117名に地元産木材の記念ロゴ入り木製手形パネルを贈呈。あわせて子育て伴走支援として、妊娠・出産・子育てに関する保護者の不安・負担軽減と子どもの安心な育ちを目指し、産後ケア事業や各種教室を実施。 【成果】 母子健康手帳交付時には、個別に面談し、体調や支援状況を確認するとともに、各種教室やサービス等の案内を行った。伴走型子育て支援のツールとして導入した母子手帳アプリの登録者は344名。妊産婦だけでなく、父親の登録も1割となり、少しずつ増えている。外国の方にも安心して使っていたけるように、多言語対応の母子健康手帳を14冊発行した。 産後ケア事業は、宿泊施設1か所、日帰り施設1か所と新たに契約し、産後の母子が安心して子育てができるようにサービスを提供。利用者は宿泊型で2割、日帰り型で1割強増加した。 切れ目ない子育て支援のため、4か月児健診と乳児後期訪問ですべてのお子さんに読み聞かせを行い、絵本を通して母子の愛着形成を促した。 森林環境譲与税充当事業を利用し、乳幼児期から木製製品に触れ、森林に興味を持つ心を育てることを目的として、木育プロジェクトを実施。20周年記念の手形プレートを生児に贈呈。また妊娠8か月の妊婦面談時に木製トレーニングトレイを贈呈した。 【成果指標】 R7目標値 母子健康手帳交付 140冊【R6目標値 160冊】 産後ケア事業 宿泊型60件 日帰り型39件 訪問型3件 【R6目標値 宿泊型42件 日帰り型32件 訪問型24件】 ○ブックスタート 4か月児健診対象者 140冊【R6目標値160冊】 乳児後期訪問（面談） 140冊【R6実績値140冊】 ○木育プロジェクト（森林環境譲与税充当事業） 木製手形プレート 140個【R6目標値 ー 】 木製プレート 140個【R6目標値160個】 R7実績値 母子健康手帳交付 125冊【R6実績値 126冊】 産後ケア事業 宿泊型62件 日帰り型55件 訪問型2件 【R6実績値 宿泊型53件 日帰り型49件 訪問型6件】 ○ブックスタート 4か月児健診対象者 110冊【R6実績値145冊】 乳児後期訪問（面談） 130冊【R6実績値137冊】 ○木育プロジェクト（森林環境譲与税充当事業） 木製手形プレート 117個【R6実績値 ー 】 木製プレート 111個【R6実績値121個】 【評価・課題】 訪問や面談、教室での実施を通じ、妊娠期から継続的な伴走型支援を行った。また、市制20周年を記念した手形プレート事業では、保護者から「新城市を改めて意識する機会になった」との声があり、記念事業として好評価を得た。課題としては、外国人の妊婦や子育て家庭の増加に伴い、言葉や文化の違いがサービス利用の障害となることが考えられる。すべての妊婦・子育て世帯の孤立を防ぐため、誰もが安心して必要な支援が受けられるよう対応の検討が必要である。	円 12,836,000	円 9,308,339	円 4,619,400	円 1,145,850	円	円 28,000	円 3,515,089
				①	母子保健衛生費補助金 34,000円	重層支援体制整備補助金 901,000円		（実習生実習生委託費 28,000円）	（森林環境譲与税充当 948,997円）
				②	重層支援体制整備補助金 3,606,000円	地域子ども子育て支援事業費補助金 244,850円			
				③	子ども子育て支援事業費補助金 979,400円				

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 4目 母子保健費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
					特 定 財 源				一般財源	
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
こども家庭センター	母と子のすくすく健診事業	【事業の目的・内容】 妊娠中から定期的な健診により体調管理を行い、安全・安心・満足できるお産を迎えるために、健康診査事業を実施。また、一般不妊治療費の助成を行い、子どもを望む家庭への経済的負担の軽減を図った。また低所得妊婦初回産科受診費用の助成事業を実施し、安心して妊娠できる環境を整備した。 【成果】 医療機関等で受診可能な、妊婦健康診査14回（多胎児19回）、子宮頸がん検診1回、産婦健康診査2回、乳児健康診査2回、新生児聴覚検査1回助成を実施した。妊娠を望む方の経済的な負担を軽減するため、一般不妊治療費助成事業を実施し、11件の申請があり、内6件妊娠届が提出された。 低所得妊婦の経済的負担の軽減と継続的な支援につなげるため、低所得妊婦初回産科受診費用の助成を実施し、1件の申請があった。 【成果指標】 R7 目標値 妊婦健康診査 1,856件 【R6目標値 2,000件】 産婦健康診査 300件 【R6目標値 300件】 乳児健康診査 290件 【R6目標値 300件】 新生児聴覚検査 150件 【R6目標値 150件】 一般不妊治療費助成 12件 【R6実績値 15件】 低所得妊婦初回産科受診費用助成 3件 【R6目標値 3件】 R7 実績値 妊婦健康診査 1,461件 【R6実績値 1,510件】 産婦健康診査 207件 【R6実績値 159件】 乳児健康診査 235件 【R6実績値 224件】 新生児聴覚検査 127件 【R6実績値 93件】 一般不妊治療費助成 11件 【R6実績値 11件】 低所得妊婦初回産科受診費用助成 1件 【R6実績値 2件】 【評価・課題】 医療機関と連携した支援11件。うち5件産婦健康診査の結果、産後うつ状態で早期に支援が必要な産婦だった。早期に訪問し、産後ケア事業や、子育てサービスにつなぎ、安定した育児ができている。今後は、産後うつのスクリーニングとフォローアップ体制を強化するとともに、医療機関との連携を図る。	円 19,783,000	円 16,201,700	円 1,211,000 (母子保健衛生費補助金 1,211,000円)	円 0	円 0	円 0	円 0	円 14,990,700

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 5目 予防費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				一般財源
					特 定 財 源				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
こども家庭センター	予防接種事業	【事業の目的・内容】 令和7年度から、母子の予防接種事業をこども家庭センターに移管した。妊娠期から子育て期まで、切れ目のない伴走型支援を実現し、お子さんの健やかな成長をサポートした。また、窓口を統一することで、保護者の負担軽減に努めた。 【成果】 乳児対象の予防接種では接種率が9割を超え、幼児期の予防接種も80％以上の接種率を維持する成果をあげている。 子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種は令和7年度末で終了となった。接種勧奨に努めたが、接種率は対象全体で3割程度にとどまった。 令和6年度のMRワクチン供給不足を受け、令和7年度から令和8年度末までの経過措置を適切に実施している。 任意のおたふくかぜワクチン接種の助成を実施した。 赤ちゃん訪問時に予防接種の説明を行い、さらに健診や教室を活用して未接種を確認し、接種勧奨を徹底する体制を整えた。 母子手帳アプリを導入し、保護者がこどもの複雑な予防接種スケジュールを適切に管理できる環境を構築した。アプリ導入により、接種率向上にも寄与している。 これらの取り組みにより、子どもたちの健やかな成長を支える予防接種事業がさらに充実している。 【成果指標】 R7目標値 定期接種 接種率100％ R7実績値 BCG 119件（94.4％）【R6実績値 93.2％】 MR 1 期 141件（100％）【R6実績値 82.3％】 MR 2 期 221件（89.1％）【R6実績値 86.8％】 水痘 265件（93.2％）【R6実績値 92.0％】 HPV（定期）延181件【R6実績値 延 300件】 HPV（キャッチアップ）102件 【R6実績値 延1,034件】 任意おたふくかぜ 119件【R6実績値 108件】 【評価・課題】 母子保健担当課で予防接種を行う体制にしたことにより、妊娠期から子育て期まで一貫して子どもを見守ることができ、健診、面談等で接種勧奨を行うことにより、接種率向上に繋がった。 接種率の低い予防接種については、さらに啓発を行い接種率向上に努めたい。	円 67,298,000	円 46,628,568	円 0	円 0	円 0	円 0	円 46,628,568

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 1目 保健総務費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
健康課	骨髄等提供者等助成事業	【事業の目的・内容】 移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律に基づき、公益財団法人日本骨髄バンクが行う、骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業に関し、骨髄又は末梢血幹細胞の提供を行ったドナー及びドナーが勤務する事業所に対して、それぞれ助成金を交付する。 【成果】 実績なし 【成果指標】 令和7年度目標値 ドナー1人/企業1社 (令和6年度目標値 ドナー1人/企業1社) 令和7年度実績値 ドナー0人/企業0社 (令和6年度実績値 ドナー0人/企業0社)	円 210,000	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0
	がん患者アピアランスケア支援事業補助金	【事業の目的・内容】 がん患者のがん治療に起因する外見の変化を補完するウィッグ又は乳房補整具の購入に係る経済的負担の軽減を図るため、助成金を交付した。補助額は購入費用の1/2（上限2万円）。 相談窓口、広報等で当事業を周知した。 【成果】 対象者の経済的負担を軽減できた。 【成果指標】 令和7年度目標値 16件 (令和6年度目標値 16件) 令和7年度実績値 23件 (令和6年度実績値 6件)	640,000	410,706	0	205,000 (愛知県がん患者アピアランスケア支援事業費補助金)	0	0	205,706
	若年がん患者在宅療養支援事業	【事業の目的・内容】 医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと診断された若年がん患者が在宅療養する際に負担する在宅サービスや福祉用具の貸与・購入に係る費用支援のため、補助金を交付する。 【成果】 実績なし 【成果指標】 令和7年度目標値 1件 (令和6年度目標値 1件) 令和7年度実績値 0件 (令和6年度実績値 0件)	324,000	0	0	0	0	0	0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 2目 保健事業費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
健康課	健康教育事業	【事業の目的・内容】 保健師や栄養士、歯科衛生士が地区の公民館や老人クラブなどの集まりに出かけ、健康教育を行った。また、市民が自ら運動を継続していけるよう、運動教室を実施した。参加者には市内で実施する運動教室一覧を配付し運動継続を促した。 令和7年度から健康マイレージアプリを導入し、広報やLINE、各種保健事業で周知、また市内で実施するスマホ教室と連携し利用者増加を図った。 【成果】 生活習慣病予防やフレイル予防の講座、運動教室等を行うことで正しい知識が普及し、健康の維持増進、疾病の早期発見・早期治療につなげることができた。 また、マイレージの特別賞賞品は、協賛企業を募り15企業の協力が得られ、楽しみながら健康づくりに取り組む人が増加した。 【成果指標】 ○健康教育事業 目標値：令和7年度 500人 (令和6年度 420人) 実績値：令和7年度 616人 (令和6年度 824人) ○健康マイレージ事業 健康マイレージ参加者数 目標値：令和7年度 100件 (令和6年度 80件) 実績値：令和7年度 524件 (令和6年度 60件)	円 2,164,000	円 1,852,351	円 0	円 354,000 (健康増進 事業費補助 金)	円 0	円 0	円 1,498,351

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 2目 保健事業費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
健康課	健康相談事業	【事業の目的・内容】 一般市民の健康に関する電話や面接の相談に保健師、管理栄養士等が応じた。 検診の結果等、訪問指導を必要とする住民に対して、保健指導を実施した。 【成果】 悩みのある方の相談や健診結果について保健指導を行うことで、健康の維持増進、疾病の早期発見・早期治療につなげることができた。 【成果指標】 ○健康相談事業 目標値：令和7年度 500人) (令和6年度 420人) 実績値：令和7年度 面接124人 電話150人 (令和6年度 面接118人 電話197人) ○訪問指導（延） 目標値：令和7年度 40人 (令和6年度 40人) 実績値：令和7年度 45人 (令和6年度 59人)	円 89,000	円 60,665	円 0	円 27,000 (健康増進 事業費補助 金)	円 0	円 0	円 33,665

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 2目 保健事業費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
健康課	健康診査事業	【事業の目的・内容】 健康維持や病気の早期発見のため、健康診査、がん検診の受診環境を整える。受診率向上のためPRとして、歯周疾患検診・特定健康診査等の受診券を送付の際、がん検診の案内を同封するとともに、広報・ホームページ・LINEでの掲載を行った。 骨粗しょう症検診は、国の指針に基づき、40、45、50、55、60、65、70歳の女性に個別通知で受診勧奨を行った。受診者へは検診会場で結果説明と健康教育を実施した。また後日希望者に骨粗しょう症予防教室を実施し、運動や栄養面の保健指導を行った。 歯周疾患検診は、成人の歯周疾患予防を目的に、20、30、35、40、50、60、70歳に個別通知した。受診期間は6月～2月で、受診勧奨はがきを送付した。 【成果】 胃がん検診は胃カメラ検診を可能としたことで受診率が増加した。他がん検診は受診勧奨等に取組んだが受診率は低下した。 【成果指標】 ○健康診査事業 胃がん検診(集団・個別) 目標値：令和7年度 5.0% (令和6年度 5.0%) 実績値：令和7年度 5.9% (令和6年度 4.1%) 子宮がん検診(集団・個別) 目標値：令和7年度 15.0% (令和6年度 15.0%) 実績値：令和7年度 13.0% (令和6年度 14.0%) 乳がん検診(集団・個別) 目標値：令和7年度 12.0% (令和6年度 12.0%) 実績値：令和7年度 11.5% (令和6年度 11.5%) 肺がん検診(集団・個別) 目標値：令和7年度 10.0% (令和6年度 10.0%) 実績値：令和7年度 9.4% (令和6年度 9.8%) 大腸がん検診(集団・個別) 目標値：令和7年度 22.0% (令和6年度 22.0%) 実績値：令和7年度 21.6% (令和6年度 21.6%) 歯周疾患検診 目標値：令和7年度 14.0% (令和6年度 14.0%) 実績値：令和7年度 12.7% (令和6年度 14.3%) 骨粗しょう症検診 目標値：令和7年度 17.0% (令和6年度 16.0%) 実績値：令和7年度 17.1% (令和6年度 15.0%)	円 33,170,000	円 28,693,683	円 233,000 (疾病予防対策事業費補助金)	円 2,229,000 (健康増進事業費補助金) 493,000 (医療施設運営費等補助金) ※医療施設運営費等補助金(歳入1,001,000円)のうち健康課分493,000円 その他はこども未来課及びこども家庭センター分	円 0	円 1,493,000 (がん検診等一部負担金)	円 24,245,683

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 5目 予防費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
健康課	予防接種事業	【事業の目的・内容】 新城市医師会の協力を得て、各種予防接種事業を実施し、市民の疾病予防に努めた。なお、予防接種情報は健康管理システム「健康かるて」で管理している。 带状疱疹任意接種助成事業を例年どおり実施した。带状疱疹予防接種は50歳以上の方を対象に带状疱疹ワクチン2回または水痘ワクチン1回を助成した。 定期予防接種（B類） 高齢者肺炎球菌は65歳の方に通知を送付し、定期接種として実施した。 高齢者インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防接種は65歳以上の方を対象に実施。対象者が同じであるため、同時に予診票を発送した。 带状疱疹予防接種はR7年度から定期接種化されたため、対象者に通知を送付し実施した。 【成果】 対象となる市民に個別通知を送付し接種を促すことで、市全体の疾病発症率の低下に寄与した。 【成果指標】 ○定期接種 高齢者肺炎球菌 実績値：令和7年度 215人(36.4%) (実績値：令和6年度155人) 高齢者インフルエンザ 実績値：令和7年度 9,794人 実績値：令和7年度65歳以上 9,789人 (60.0%) (実績値：令和6年度 9,880人) 新型コロナウイルス感染症 実績値：令和7年度 2,757人 実績値：令和7年度65歳以上 2,756人 (16.9%) (実績値：令和6年度 4,292人) 带状疱疹 実績値：令和7年度 生ワクチン170件 実績値：令和7年度 組換えワクチン実1,009人延1,962件 計1,179人 (34.0%) ○任意接種 水痘ワクチン 実績値：令和7年度 22件 (実績値：令和6年度 22件) 带状疱疹ワクチン 実績値：令和7年度 延356件 (実績値：令和6年度 延551件)	円 157,086,000	円 123,434,471	円 725,677	円 2,450,700	円 0	円 8,300	円 120,249,794
					(新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金603,500円)	(予防接種事故対策費補助金2,450,700円)		(新型コロナウイルス定期接種ワクチン確保事業助成金8,300円)	
					(新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金122,177円)				

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 13目 後期高齢者医療保健事業費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
健康課	後期高齢者医療保健事業	【事業の目的・内容】 後期高齢者医療制度の被保険者に、後期高齢者医療健康診査を実施した。人間ドックは後期高齢者医療制度の被保険者で、後期高齢者医療保険料を完納されている方の希望者を対象に4医療機関において実施した。 【成果】 自らの健康状態を知り、予防行動や受診行動をとることで、医療費の抑制、健康寿命の延伸につながっている。 【成果指標】 ○受診率 目標値：令和7年度 45.0% (令和6年度 45.0%) 実績値：令和7年度 43.4% 速報値 (令和6年度 43.5%) ○受診者数 医療機関個別 実績値：令和7年度 4,119人 (令和6年度 4,035人) 人間ドック 実績値：令和7年度 121人 (令和6年度 139人) 【事業の目的・内容】 76歳の方に個別通知をし、市内歯科医院にて歯周疾患検診を実施した。 【成果】 自らの口腔内について知り受診することで、歯周疾患や生活習慣病を予防や重症化予防につなげることができた。 【成果指標】 ○受診率 目標値：令和7年度 17.6% (令和6年度 15.2%) 実績値：令和7年度 10.9% (令和6年度 12.5%) ○受診者数：令和7年度 90人 (令和6年度 111人)	円 61,234,000	円 57,975,103	円 0	円 0	円 0	円 39,898,743 (広域連合受託事業収入39,691,743円) (後期高齢者医療制度特別対策補助金207,000円)	円 18,076,360
	後期高齢者歯周疾患検診								

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

国民健康保険事業特別会計 4款 保健事業費 1項 特定健康診査等事業費 1目 特定健康診査等事業費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
健康課	特定健康診査事業	【事業の目的・内容】 市国民健康保険の被保険者で、40歳以上74歳までの方に、自己負担無料で特定健康診査を実施した。市独自の追加項目としてクレアチニン・貧血検査を全員に実施した。受診率向上のため、9月に受診中断者、離脱予備軍、40歳到達者、健診未受診者に受診パターンに合わせて作成した受診勧奨はがきで再受診勧奨を行った。資格確認書送付時、納税通知書送付時に特定健康診査の受診勧奨通知を入れた。個別医療機関特定健康診査、集団特定健康診査、被保険者健康診査事業を実施した。 【成果】 見込で受診率の向上につながった。様々な方法を実施し周知することで、対象者に情報提供ができた。 【成果指標】 ○受診率 目標値：令和7年度 46.0% (令和6年度 45.0%) 実績値：令和7年度 43.1%見込 (令和6年度 42.9%)	円 58,335,000	円 44,872,171	円 0	円 10,270,000	円 0	円 88,000	円 34,514,171
	特定保健指導事業	【事業の目的・内容】 特定健診結果から、特定保健指導の対象者に対して、初回面接から最終評価まで、保健師・栄養士が個別面接、家庭訪問、電話相談を行った。 【成果】 指導実施率の向上につながった。 【成果指標】 ○指導率 目標値：令和7年度 43.0% (令和6年度 42.0%) 実績値：令和7年度 56.4%見込 (令和6年度 49.1%)				(特定健康診査等負担金 10,270,000円)		(健診等一部負担金 84,400円) (健康教室参加費等収入 3,600円)	

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 1目 保健総務費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
地域医療支援室	在宅当番医制運営事業	【事業の目的・内容・成果】 新城市医師会が実施する在宅当番医制の運営に対する補助を行い、第1次救急医療体制の確保に努めた。診療体制が手薄となる土曜日午後5時から午後9時までの時間帯に市内2病院が診療を担当する体制で実施した。眼科、皮膚科の専門科については、夜間（午後7時～午後11時）並びに休日昼間（午前9時30分～午後4時30分）の診療を3医院が輪番で実施した。	円 984,000	円 983,640	円 0	円 0	円 0	円 0	円 983,640
	(1)在宅当番医制運営事業	【成果指標】 ○受診者数：内科・小児科・専門科 目標値：令和7年度 100人 (令和6年度 100人) 実績値：令和7年度 60人 (令和6年度 66人)							
	(2)在宅当番医制事務事業	【事業の目的・内容・成果】 新城市医師会が実施する在宅当番医制に係る在宅当番医及び当番日等の調整事務に対して補助を行い、在宅当番医制の円滑化に努めた。市内の病院（新城市民病院を除く2病院）と専門科医院（眼科2、皮膚科1の3医院）の合計5医療機関による体制で実施した。	320,000	319,800	0	0	0	0	319,800
	第2次救急医療対策事業	【事業の目的・内容・成果】 東三河山間地域広域2次救急医療圏の第2次救急医療施設である新城市民病院へ補助を行い、救急医療体制の確保に努めた。	31,116,000	31,115,520	0	0	0	6,674,279 (町村分担金)	24,441,241
		【成果目標】 ○受診者数 目標値：令和7年度 2,000人 (令和6年度 2,000人) 実績値：令和7年度 1,603人 (令和6年度 1,814人)							

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 6目 休日・夜間診療所費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
地域医療支援室	休日診療所運営事業	【事業の目的・内容】 傷病の初期及び急性期の診療を目的として、休日診療所の運営を新城市医師会・新城歯科医師会に委託して休日、祝日及び年末年始等における第1次救急体制の確保に努めた。 【成果】 休日、祝日及び年末年始等における第1次救急体制の充実が図られた。また、オンライン資格確認で医療費助成の受給確認をおこなうための改修を行い適切な会計処理並びにスムーズな受付対応ができるように努めた。 【成果指標】 ○受診者数 目標値：令和7年度 2,000人 (令和6年度 2,000人) 実績値：令和7年度 1,334人 (令和6年度 1,485人)	円 27,529,000	円 20,999,029	円 0	円 63,000	円 0	円 11,638,357 (診療報酬、 診断証明手数料、 公共施設 使用者光熱水 費等収入、実 費徴収金等収 入)	円 9,297,672
	夜間診療所運営事業	【事業の目的・内容】 地元新城市医師会を始め、豊川市医師会、豊橋医師会、豊橋ハートセンター、豊橋医療センター所属医師の支援並びに協力のもと、毎日、夜間診療所を運営している。 【成果】 夜間における第1次救急医療体制の充実が図られた。また、オンライン資格確認で医療費助成の受給確認をおこなうための改修を行い適切な会計処理並びにスムーズな受付対応ができるように努めた。 【成果指標】 ○受診者数 目標値：令和7年度 1,000人 (令和6年度 1,000人) 実績値：令和7年度 618人 (令和6年度 663人)	48,415,000	47,681,145	0	63,000	0	5,250,829 (診療報酬、 診断書手数料)	42,367,316

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 7目 訪問看護費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
訪問看護ステーション	訪問看護事業	【事業の目的・内容】 在宅で療養を希望される方で、主治医が訪問看護の必要性を認めた方に対し、看護師が自宅に訪問して看護サービスを提供する。 地域での在宅療養者に対し、24時間対応体制を維持し必要に応じて適切な対応が出来る体制となっている。 【成果】 令和7年度も加算要件の機能強化型訪問看護1、看護体制強化加算1の算定要件を満たし、健全な訪問看護事業が出来るように努めた。 また、お出かけ講座、中学校行事の共育、シルバーまつりに参加し地域住民などに対する情報共有や相談、人材育成のための研修の実施として看護学生や研修医の受け入れを実施した。 【成果指標】 ○訪問回数 目標値：令和7年度 5,950人 (令和6年度 5,950人) 実績値：令和7年度 4,861人 (令和6年度 4,399人)	円 95,481,000	円 93,898,313 (人件費 82,685,559円 人件費以外 11,212,754円)	円 0	円 0	円 0	円 58,503,262 (訪問看護医療保険収入、 訪問看護介護保険収入、実 費徴収金等収 入、実習生実 習委託費)	円 35,395,051

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 4款 衛生費 1項 保健衛生費 8目 助産所費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
しんしろ助産所	助産所運営事業	【事業の目的・内容】 北部医療圏では出生数が減少傾向にある中、しんしろ助産所は、母子の孤立を防ぐ丁寧な対応と、個々のニーズに即したケアの提供に努めた。オープンシステムによる分娩に加え、母乳育児支援、哺乳量・体重測定、産後ケア等のサービス、ならびにマタニティヨガ、産後ヨガ、ベビーマッサージ等の各種教室を実施した。併せて、若年層を対象とした「性といのちの教育」にも注力した。「プレコンセプションケア講座」は庁内新規採用職員に加え、民間企業1社でも実施。小・中・高校生向けの「いのちの授業」「保健講話」「赤ちゃんふれあい体験」に加え、乳幼児の保護者を対象とする性教育講座も新たに開始した。 【成果】 産後ケアは好評で、利用件数は前年比123%（令和6年度69件→令和7年度85件）。利用者アンケートでは「とても満足」「満足」の回答が100%であった。 「性といのちの教育」については学校からの依頼が増加し、14校28件を実施し、第3期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた当初目標（13件）を大幅に上回った。 乳幼児の保護者向け性教育講座も好評であった。 胎児診断装置は、接触不良等の不具合が生じ始めていたため、補助金を活用し更新を行い胎児の安全と妊婦の安心の確保に資する体制を整えた。 【成果指標】 ○分娩件数 目標値：令和7年度 3件 (令和6年度 3件) 実績値：令和7年度 2件 (令和6年度 1件) ○産後ヨガなどの利用者数 目標値：令和7年度 480人 (令和6年度 480人) 実績値：令和7年度 534人 (令和6年度 435人)	円 33,992,000	円 33,088,257 (人件費 28,887,207円 人件費以外 4,201,050円)	円 0	円 105,000	円 0	円 1,384,400 (助産所利用者使用料、産後ケア事業、分娩介助料、実習生実習委託費)	円 31,598,857

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

国民健康保険診療所特別会計 1款 総務費 1項 管理費 3目 診療費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
作手診療所	診療事業 (医療情報システム更新)	【事業の目的・内容】【成果】 業務の合理化や効率化、患者サービス及び医療の質の向上を図ることを目的として、電子カルテシステムをはじめとした医療情報システムの更新を行った。 【成果指標】 ○医療機器更新 実績値：医療情報システム一式	円 16,720,000	円 16,720,000	円 16,720,000	円 0	円 0	円 0	円 0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

国民健康保険診療所特別会計 2款 医業費 1項 医業費 1目 診療費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
作手診療所	診療事業	【事業の目的・内容】【成果】 内科・外科・小児科・整形外科の4科目を診療科目として標榜し、令和7年度は242日外来診療を実施した。 在宅医療に関しては、通院困難な患者に対して、訪問診療を実施し、緊急時には往診にも出掛けた。 診療所を運営することにより、地域住民の安全・安心な暮らしに貢献することができた。 【成果指標】 1 外来受診数 実績値：令和7年度 4,475人 (令和6年度 4,549人) 2 在宅診療数 実績値：令和7年度 63人 (令和6年度 92人) 3 放射線検査数 実績値：令和7年度 162件 (令和6年度 176件) 4 臨床検査数 実績値：令和7年度 4,727件 (令和6年度 4,989件) 5 処方箋枚数 実績値：令和7年度 3,741件 (令和6年度 3,784件)	円 2,992,000	円 2,709,501	円 0	円 0	円 0	円 0	円 2,709,501

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

国民健康保険診療所特別会計 2款 医業費 1項 医業費 1目 診療費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
作手診療所	診療事業 (健診用医療機器更新)	【事業の目的・内容】【成果】 地域医療の確保、医療サービスの提供に加えて、予防と治療の一体的提供を行う目的から、健診の重要性に着目し、健診用医療機器の更新を行った。 【成果指標】 ○医療機器更新 実績値：1 視力検査器 1台 2 聴力検査器 1台 3 心電図用電動診察台 1台	円 1,342,000	円 1,325,500	円 0	円 252,000	円 900,000	円 0	円 173,500

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

国民健康保険診療所特別会計 2款 医業費 1項 医業費 3目 健康診査費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
作手診療所	健康診査事業	【事業の目的・内容】 【成果】 作手地区唯一の診療所であり、コロナが5類に移行した後においても、感染予防対策を取り、健診・人間ドックを行った。 また、各種予防接種を実施することにより地域住民の健康維持・予防に寄与することができた。 【成果指標】 1 特定・後期健診 実績値：令和7年度 156人 （令和6年度 149人） 2 国保ドック 実績値：令和7年度 19人 （令和6年度 21人） 3 後期ドック 実績値：令和7年度 1人 4 こども園健診 実績値：令和7年度 31人 （令和6年度 31人） 5 小中学校健診 実績値：令和7年度 133人 （令和6年度 141人） 6 大腸がん検診 実績値：令和7年度 61人 （令和6年度 61人） 7 胃がん検診（バリウム） 実績値：令和7年度 3人 8 市職員健診 実績値：令和7年度 8人 9 教職員健診 実績値：令和7年度 10人 10 インフルエンザ予防接種 実績値：令和7年度 356人 （令和6年度 358人） 11 新型コロナウイルス接種（定期） 実績値：令和7年度 74人 （令和6年度 130人） 12 高齢者肺炎球菌予防接種（定期） 実績値：令和7年度 1人 13 高齢者肺炎球菌予防接種（任意） 実績値：令和7年度 1人 （令和6年度 3人）	円 3,480,000	円 2,945,250	円 0	円 0	円 0	円 0	円 2,945,250

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
		14 带状疱疹予防接種(組換え) (定期) 実績値：令和7年度 48人 15 带状疱疹予防接種(組換え) (任意) 実績値：令和7年度 5人 (令和6年度 21人) 16 日本脳炎予防接種 実績値：令和7年度 9人 (令和6年度 21人) 17 二種混合予防接種 実績値：令和7年度 7人 (令和6年度 9人) 18 麻しん風しん予防接種 実績値：令和7年度 1人 (令和6年度 4人) 19 二種混合予防接種 (任意) 実績値：令和7年度 1人 実績値合計：令和7年度 925人 (令和6年度 949人)							

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 5款 労働費 1項 労働諸費 1目 労働諸費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
産業政策課	新規雇用創出事業	【事業の目的・内容】 令和6年度までの企業説明会形式から開催方法を大幅に変更し、企業が高校生に対して魅力を5分間で発表するピッチ形式で開催した。ピッチをよりよいものにするために、新城市雇用創造協議会やハローワーク新城と連携し、市内企業を対象にしたセミナーを開催した。若者に理念やパーパスを伝えるための手法をワークショップ形式で実施し、企業グループごとに大学生がメンターとして若者に伝わるプレゼン方法等に関してのアドバイスを行った。 【成果】 若者に選ばれることを目指す企業と、市内にどのような企業があるか分からない学生にとって、今までとは違う観点で知るきっかけを作ることができた。 【成果指標】 学生向けアンケートの結果 「今回説明を聞いた企業の中で、具体的に就職（高卒大卒を問わない）を考えたいという企業はありましたか」という問いに対して、具体的に就職を希望したい生徒は11%となり、令和6年度の同じ問いに対して5%上昇した。	円 1,042,000	円 534,652	円 0	円 0	円 0	円 267,326 (みんなのまちづくり基金)	円 267,326

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 5款 労働費 1項 労働諸費 1目 労働諸費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
産業政策課	地域の人事部組織構築準備事業	【事業の目的・内容】 本事業は、「中核人材の育成・確保」を中心に、企業間交流や採用支援を進めることで、地域企業の変革を促し、令和10年度までに地域一体となって人材育成・確保に取り組む組織の構築を目指すものである。 そのために地域おこし協力隊2名を採用し、企業間交流や採用支援を通じて、地域全体で人材育成・確保に取り組む基盤づくりを進めた。 【成果】 企業間ミーティングや個社伴走支援、事業者ヒアリングを通じて地域企業の実態把握と課題解決に努め、新規事業の発展と雇用創出に繋げた。 【成果指標】 目標：地域の人事部構築に向けた現状把握および関係機関との連携体制、推進基盤を整備する。 実績：計97社の事業者訪問や14回の情報共有会議などを開催し、現状把握および連携体制の強化を行った。	円 6,431,000	円 6,430,983	円 0	円 0	円 0	円 0	円 6,430,983

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
産業政策課	プレミアム付商品券事業	【事業の目的・内容】 エネルギーや食料品価格等の物価高の影響を受けた事業者・市民に対して支援した。 プレミアム商品券を発行する新城市商工会に補助金を交付した。 しんしろプレミアム付きデジタル商品券 「新城さくら p a y」 販売金額 5,000円 利用可能額8,000円 (共通券4,000円、地元応援券4,000円) プレミアム率60% 参加店舗234店舗 (令和6年度220店舗) 販売期間9月1日～10月14日 (2次再販) 利用期間9月1日～1月10日 【成果】 6月補正で事業実施したが、参加店舗数、利用率共に令和6年度を上回る結果となった。 また、アンケート回収率も利用者・事業者共に令和6年度を大きく上回った。 利用者アンケート42.1% (令和6年度15.4%) 事業者アンケート52.1% (令和6年度20.1%) 【成果指標】 目標 利用率100% 実績値 利用率99.9% (令和6年度 99.8%)	円 94,656,000	円 94,321,626	円 73,321,626 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)	円 21,000,000 (げんき商店街推進事業費補助金)	円 0	円 0	円 0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
産業政策課	しんしろビジネスマッチング事業	【事業の目的・内容】 市内事業者の販路拡大のため、企業間連携（ビジネスマッチング）のきっかけとなるように各種展示会等への出展を促進するため出展料の補助を実施した。 【成果】 予算執行率は58.7%であったが、それぞれの事業所で新規の顧客獲得のきっかけとなるための商談に発展するケースが多く、事業所で見られた。 【成果指標】 R7年度 目標値 6件 (R6年度 目標値 6件) R7年度 実績値 6件 (R6年度 実績値 9件)	円 2,100,000	円 1,233,000	円 0	円 0	円 0	円 616,500 (みんなのまちづくり基金)	円 616,500

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
産業政策課	創業支援等事業	【事業の目的・内容】 新たに創業する事業者もしくは開業から1年を経過しない事業者に対して、創業時にかかる設備費や広告宣伝費などの費用を補助した。 【成果】 産業政策課窓口にて創業相談を行うほか、商工会や金融機関などと連携してワンストップ相談として創業者の支援を行った。また、特定創業支援の認定を受けた事業者には創業補助金で資金面での支援を行った。 【成果指標】 ○創業者数 目標値：令和7年度 13人 (令和6年度 13人) 実績値：令和7年度 28人 (令和6年度 37人)	円 1,956,000	円 1,919,000	円 0	円 0	円 0	円 1,112,795 (内訳) 806,205円 (みんなのまちづくり基金) 306,590円 (企業版ふるさと納税)	円 806,205

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
産業政策課産業誘致推進室	企業立地奨励事業	【事業の目的・内容】 「新城市企業立地奨励条例」に基づき、立地企業に対し立地奨励金を交付し、産業の振興と市勢の発展に寄与した。今後も円滑な事業の推進を図る。 【成果】 実績 3件 株式会社イノアックコーポレーション アツミニエキ株式会社 有限会社カワイ製作所 【成果指標】 ○立地奨励金交付件数 R7目標値 3件 (R6目標値 3件) R7実績値 3件 (R6実績値 3件)	円 49,426,000	円 49,425,400	円 0	円 0	円 0	円 0	円 49,425,400

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
産業政策課産業誘致推進室	中小企業者事業基盤強化等奨励事業	【事業の目的・内容】 『新城市中小企業者事業基盤強化等奨励条例』に基づき、立地企業に対し中小企業者事業基盤強化等奨励金を交付し、産業の振興と市勢の発展に寄与した。今後も円滑な事業の推進を図る。 【成果】 実績 1件 株式会社動研 【成果指標】 ○中小企業者事業基盤強化等奨励金交付件数 R7目標値 1件 （R6目標値 1件） R7実績値 1件 （R6実績値 1件）	円 404,000	円 403,800	円 0	円 0	円 0	円 0	円 403,800

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
農業課	新規就農者確保対策事業	【事業の目的・内容】 本市の主要な施設園芸品目である「いちご」、「夏秋トマト」「周年ほうれんそう」及び「菌床しいたけ」を、若者に魅力ある農業として発信し、市内外から新規就農者を確保することにより、先代が築き上げてきた産地の維持・拡大を図る。 令和7年度は1年間の農業研修を経て令和9年度以降に就農を目指す人材確保のため東京、名古屋で開催された就農相談会へ出展した。また、市内就農相談会及び現地説明会を実施した。 ・就農相談会参加者数：33名 ・現地相談会参加者数：3名 【成果】 本年度は新たな人材の確保につながらなかった。 なお、直近3～5か年に就農した12の農家の定着支援のため、県普及課、先輩農家などと現地へ出向き経営や栽培についての課題解決に努めた。 【成果指標】 対象4品目の栽培面積 目標値：令和7年度 12.63ha 実績値 令和7年度 12.63ha	円 919,000	円 74,000	円 0	円 0	円 0	円 37,000 (みんなのまちづくり基金)	円 37,000

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 6款 農林水産業費 1項 農業土木費 1目 農業土木費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
農業課	県営農地環境整備事業	【事業の目的・内容】 中山間地域において、今後も営農を継続するため農用地の生産基盤整備を行う。 事業実施に向け関係機関・地元との連絡調整を行った。 【成果】 ほ場整備することにより、農業生産性の向上と営農環境が改善し、継続的な営農環境整備が図られた。	円 24,686,000	円 24,498,144	円 0	円 0	円 22,300,000	円 2,115,000	円 83,144
			(内訳) 作手菅沼 13,936,000	13,748,244	0	0	11,600,000	2,115,000	33,244
			西田原 6,350,000	6,349,900	0	0	6,300,000	0	49,900
			塩瀬 4,400,000	4,400,000	0	0	4,400,000	0	0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 6款 農林水産業費 3項 林業費 2目 林業振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
森林課	保全林環境管理事業	【事業の目的・内容】 富岡地区の環境保全林のある「五葉の森」は区域内の施設整備から30年余りが経過しており、区域内の施設の老朽化から、適正な維持管理が必要となっているため、令和7年度は市が管理する生活環境保全林三河材活用施設（展望台）の一部に傷みが確認されたため、地域材を用いた階段部の入れ替えや木材保護塗装を行った。 当初は休憩所及び案内板に関しても修繕対象としていたが、区域内において県が計画する施設再整備の予定と地元住民の要望等を調整の結果、展望台修繕のみとなった。 【成果】 当初予定していた施設修繕箇所は市の事業での実施数は減少したものの、展望台の改修を始めとした適切な維持管理業務を行うことにより、安全が確保され、散策に訪れる方々が安心して施設を利用できる環境が整備された。 【成果指標】 ○施設改修 目標値：令和7年度 3箇所 （令和6年度 1箇所） 実績値：令和7年度 1箇所 （令和6年度 1箇所）	円 8,140,000	円 2,825,958	円 0	円 0	円 0	円 0	円 2,825,958 （森林環境譲与税）

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 6款 農林水産業費 3項 林業費 2目 林業振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
森林課	新城木育プロジェクト事業	【事業の目的・内容】 林業家、林業従事者が減少してゆく中、将来の担い手となる可能性を秘めた子供たちを対象に年代に合わせた木の触れ合いを通じ森林に関わる人材育成を目的として、令和7年度も引続き市内6箇所の小学校で森林教室の開催や市内全こども園での木育教室を開催した。また、新生児の誕生祝品として、市内の木材で製作した積み木の配布も行った。 【成果】 森林教室では学校周辺の山へ出向き、森の働きや保水力の体験や五感を使い、自然の様々な色や音を見て感じる活動をすることで自然からの発見や感動を得ることができた。木育教室は毎年、一部のこども園だけの対応だったが今年度より全こども園で実施したことより、市内の園児達に幼少期から木の触れ合いを経験してもらう機会を十分に提供でき、森林への興味が熟成された。誕生祝品では、市制20周年のロゴマークの刻印を施し配布したことにより、記念に残る一品となった。 【成果指標】 ○体験学習実施小学校数 目標値：令和7年度 6校 (令和6年度 6校) 実績値：令和7年度 6校 (令和6年度 6校) ○木育教室実施こども園数 目標値：令和7年度 15園 (令和6年度 6園) 実績値：令和7年度 15園 (令和6年度 6園)	円 3,779,000	円 2,544,519	円 0	円 0	円 0	円 0	円 2,544,519 (森林環境譲与税)

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 6款 農林水産業費 3項 林業費 2目 林業振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
森林課	雁峰山整備事業	【事業の目的・内容】 地域共有の山という特色から筆が細かく、複数の所有者がいることから森林整備の進んでいない雁峰山の森林機能の向上のため、林班単位に取りまとめた間伐実施を行った。令和7年度は昨年度に測量調査が完了した第2事業地の1082い・ろ・は林小班で30.22haの切捨間伐を実施した。 また、新たに第3事業地106.0haの区域の所有者に対し、本事業の説明会を開催し、事業協力を求めた。 【成果】 令和3年度より開始した本事業も5年目を迎え、所有者の理解や協力も浸透し始めるとともに、自己の所有財産である森林管理の重要性に対する理解が深まった。 【成果指標】 ○境界明確化面積 目標値：令和7年度 106.0ha (令和6年度 90.9ha) 実績値：令和7年度 106.0ha (令和6年度 88.7ha) ○間伐実施面積数 目標値：令和7年度 50.0ha (令和6年度 50.0ha) 実績値：令和7年度 30.22ha (令和6年度 33.57ha)	円 52,922,000	円 51,304,880	円 0	円 0	円 0	円 0	円 51,304,880 (森林環境譲与税)

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 6款 農林水産業費 3項 林業費 2目 林業振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
森林課	林業従事者定着促進奨励金事業	【事業の目的・内容】 新城市内の森林を整備する林業従事者を林業事業体が十分に確保できるようにするため、これまでと同様に事業体が新規雇用者に対し実施した「就業者家賃補助」や「社会保険料等雇用主負担」、「賞与等手当」への補助を実施した。令和7年度は以前より本事業を活用していた2事業体に加え、新たに新規雇用者を採用した1事業体より活用申請があった。 【成果】 各種手当等支給の導入が進むことにより、各事業体による若い人材の雇用継続が図られた。 【成果指標】 ○制度利用事業体数 目標値：令和7年度 4事業体 (令和6年度 4事業体) 実績値：令和7年度 3事業体 (令和6年度 2事業体)	円 3,900,000	円 1,650,235	円 0	円 0	円 0	円 0	円 1,650,235 (森林環境譲与税)

令和 7 年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 3目 観光振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
観光課	観光のまち新城 P R 事業 新城市観光PR動画の作成に要する経費	【事業の目的・内容】 新城市観光大使のマヂカルラブリー村上氏を起用し、市内の観光資源のうち特に誘客の見込めるものを選別して観光PR動画を作成した。 動画は47分程のものを3分割し、配信用映像として15分映像を「B S よしもと」の番組で使用し、幅広い地域や世代にアプローチして情報発信を行った。 【成果】 1年間の限定配信であるが市公式Y o u T u b e にアップロードし2.2万回の再生がされた。令和8年度は、観光P R 出店の際に映像公開を実施し、広く一般に周知PRすることに努めていく。 【成果指標】 ○観光入り込み客数 R7 R6 目標：330万人 (300万人) 実績：252万人 (250万人)	円 3,053,000	円 3,052,500	円 0	円 1,387,000 (観光施設費等補助金)	円 0	円 0	円 1,665,500

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 3目 観光振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
観光課	地域おこし協力隊運営事業	《ボールソン祐子隊員》 【事業の目的・内容】【成果】 R7新規取組 ・商談会実施17件以上（アメリカ、カナダほか） ・インターン受入れ R5からの継続取組 ・マルシェの開催及び協力（年7回） ・海外ゲストのアテンド（約13名、オーストラリア、アメリカ、ニュージーランド、メキシコ、フランス、台湾、ブラジルなど） 《小山貴大隊員》 【事業の目的・内容】 地域おこし協力隊制度を活用したサイクルツーリズム及び観光コンテンツ開発を中心とした地域振興活動を行う。 自転車での地域調査、レース活動やSNSでの情報発信、I R C T I R E C U P開催補助、自転車安全教室開催補助、東郷マウンテンバイククラブ開催、サイクリングマップを作成した。 【成果】 サイクルツーリズム、スポーツツーリズムを通して、市の魅力を発信した。サイクリストが増える一方で、サイクリストのマナー向上といった課題があり、マナー向上に向けた広報に力を入れる必要がある。 【成果指標】 ○サイクルイベントの集客 目標値：令和7年度 3,000人 （令和6年度 200人） 実績値：令和7年度 1,944人 （令和6年度 3,689人）	円 9,416,000	円 8,932,319	円 0	円 0	円 0	円 0	円 8,932,319

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 3目 観光振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
観光課	スポーツツーリズム推進事業	【事業の目的・内容】 アウトドアスポーツを用いた着地型観光プログラムを創出するため、各種自転車の大会やトレイルレースを中心に開催及び支援を行った。 【成果】 市内には自転車を楽しめるフィールドがあることや自転車の魅力を知ってもらうことができた。今後も自転車を楽しめるフィールドづくりやアウトドアスポーツを手段とした観光振興を進めたい。 【成果指標】 ○スポーツツーリズムイベントの集客 目標値：令和7年度 4,000人 (令和6年度 1,900人) 実績値：令和7年度 4,147人 (令和6年度 4,987人)	円 2,682,000	円 1,416,417	円 469,208 (新しい地方 経済・生活環 境創生交付 金)	円 0	円 0	円 473,604 (みんなのま ちづくり基 金)	円 473,605

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 3目 観光振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
観光課	WR C 関連事業	【事業の目的・内容】 フォーラムエイト・ラリージャパン2025 ・概要：公道などを使った自動車レースの世界大会 ・開催日：11月7日（金）新城SS 11月9日（日）額田SSと三河湖SSの一部 ・会場：作手・鳳来北西部地域 ・観客動員数：734人 （東田原、塩瀬の特設観戦エリア） 【内訳：380名（作手）、354名（塩瀬）】 市民無料招待者を含む 【成果】 R7年度は昨年度同様のコース設定で開催された。R6年度は東田原観戦エリアのみで198人に売上があったが、R7年度は塩瀬エリアを増設し、売上数は東田原365人、塩瀬186人となり、収益金額も200%アップを達成した。 【成果指標】 ○観戦チケット収益 目標値 R7：3,150千円（R6：3,375千円） 実績値 R7：6,307千円（R6：3,885千円） 達成度 R7：200% （R6：115%）	円 3,150,000	円 2,059,172	円 0	円 0	円 0	円 2,059,172 （観戦チケット販売収入 6,307,850円のうち）	円 0

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 3目 観光振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
観光課	市観光協会支援事業	【事業の目的・内容】 観光協会事務局の運営に係る経費について補助を行う。 観光案内、観光PR、観光物産展への参加、観光関連団体との連携など、観光協会の運営に係る経費を対象とした補助金支出を行った。 【成果】 事務局長をはじめ、局員のすべてが刷新された新体制でのスタートであった。 その中で、これまで同様に市4大まつりを開催しながら、新規取組として、（株）デイトナとのパートナー協定を結び、「朝活Café」の実証実験まで行うことができた。 後任の事務局長や局員増員が決定しなかったため、補助金予算に不用額が生じた。 【成果指標】 ○職員採用 実績（予定） ・事務局長 0人（1人） ・事務局員 0人（1人）	円 30,084,000 △6,864,000 （3月補正） 補正額計 23,220,000	円 18,247,000	円 0	円 0	円 0	円 0	円 18,247,000

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 7款 商工費 1項 商工費 3目 観光振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
観光課	鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな管理運営事業	【事業の目的・内容】 鳳来ゆ〜ゆ〜ありいなは、青少年をはじめ市民の健康づくり、社会体育の振興、利用者の健全育成を図ることを目的に建設され、スポーツ振興、健康づくりの拠点として活用され、幅広い世代へ満足と感動を与える施設を目指し、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの指定期間として、新たに指定管理業務を締結し、指定管理者の事業計画書に基づき管理運営を行った。 【成果】 本市の主要な観光地である湯谷温泉を手軽に利用できる「日帰り温泉施設」として適正な維持管理を行うことができた。また、スポーツ振興及び健康づくりの拠点としても子どもからお年寄りまで幅広く利用していただくことができた。 【成果指標】 ○入場者数 目標値：令和7年度 134,706人 (令和6年度 147,581人) 実績値：令和7年度 136,828人 (令和6年度 134,706人)	円 85,870,000	円 85,869,026	円 0	円 0	円 0	円 660,000	円 85,209,026

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 8款 土木費 1項 土木管理費 3目 用地対策費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
土木課	地籍調査事業	【事業の目的・内容】 市街化区域（工業、工専及び区画整理地区を除く（3.73km²））について、現況と一致する正確な地図を作成して、地籍の明確化を図り、地籍情報を基に行政事務の基礎資料として活用する。 【成果】 令和7年度実施工程…川田B地区（0.20km²）のうちF R工程（復元測量・現況測量）実施した。 A工程からH工程まで複数年に渡り段階を踏んで実施する地籍調査事業について、次年度以降にも必要となるF R工程の本年度分を滞りなく完了した。 【成果指標】 ○換算面積 目標値：令和7年度 0.09km² （令和6年度 0.09km²） 実績値：令和7年度 0.09km² （令和6年度 0.09km²） ※なお、換算面積とは年度毎の工程の進捗を積み上げていく指標であり、すべての工程が完了すれば実施対象面積である0.20km²となるが、R7実施のF R工程は換算面積が無いため、目標値及び実績値は前年度と同じとなる。	円 46,896,000	円 22,541,517	円 0	円 16,839,000	円 0	円 0	円 5,702,517

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 8款 土木費 2項 道路橋りょう費 3目 道路新設改良費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
土木課	交通安全施設整備事業	【事業の目的・内容】 地域要望及び小中学校通学路の危険箇所の現地調査を行い、危険箇所に対し対策を行い、交通事故防止と交通の円滑化を図る。 【成果】 危険箇所の路肩改良、区画線設置、カーブミラー設置等の交通安全施設整備を実施し、通学路の安全確保に努め、交通事故防止と交通の円滑化を図った。 【成果指標】 ○交通安全施設整備箇所数 目標値：令和7年度 30箇所 (令和6年度 50箇所) 実績値：令和7年度 26箇所 (令和6年度 32箇所)	円 35,193,000	円 32,225,600	円 10,230,000	円 0	円 7,500,000	円 0	円 14,495,600

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 8款 土木費 2項 道路橋りょう費 3目 道路新設改良費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
土木課	道路ストック対策事業	【事業の目的・内容】 高度成長期に整備された道路ストックが今後急速に老朽化し、市民が安心して利用し続けることが困難になることから、各施設の特徴を踏まえた適切な点検による現状把握と、その結果を基に修繕計画（個別施設計画）を策定し、計画に基づく的確な修繕の実施及び維持管理を行う。 【成果】 舗装修繕を実施したことで、安全安心な生活環境の整備が図られた。 【成果指標】 ○舗装修繕延長 目標値：令和7年度 1,800m (令和6年度 900m) 実績値：令和7年度 300m (令和6年度 165m)	円 101,000,000	円 16,816,800	円 7,911,000	円 0	円 7,100,000	円 0	円 1,805,800

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 8款 土木費 2項 道路橋りょう費 3目 道路新設改良費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
土木課	橋梁・トンネル・大型構造物長寿命化対策事業	【事業の目的・内容】 本市の橋梁等については高度経済成長期以降に整備されたものが多く、今後老朽化の進行が予想されることから、点検→診断→処置→記録というメンテナンスサイクルを確立するとともに、橋梁・トンネル・大型構造物（横断歩道橋、大型カルバートなど）の長寿命化について、従来の事後保全型から損傷が軽微なうちに修繕し、計画的な掛替えを行う予防保存型へと円滑な政策転換を図る必要がある。このため、橋梁等大型構造物の長寿命化及び維持管理コストの縮減・平準化を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。 【成果】 点検、修繕を実施したことで、利用者の安全安心が確保されたとともに、施設の長寿命化が図られた。 【成果指標】 ○橋梁点検数 目標値：令和7年度 142橋 (令和6年度 131橋) 実績値：令和7年度 142橋 (令和6年度 131橋) ○橋梁修繕数 目標値：令和7年度 10橋 (令和6年度 5橋) 実績値：令和7年度 5橋 (令和6年度 4橋)	円 95,016,000	円 39,681,170	円 20,348,000	円 0	円 12,900,000	円 0	円 6,433,170

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 8款 土木費 1項 土木管理費 2目 高規格道路対策費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
土木課道路政策推進室	豊橋新城スマート I C 整備事業	【事業の目的・内容】 東名高速道路から新城市への新たな玄関口として、豊橋市、中日本高速道路株式会社と共同でスマートインターチェンジの整備に取り組み、早期供用を目指して事業を実施している。 【成果】 令和7年度は支障物件の移設工事、ランプ部の土工工事、一般道との交差点部の用地買収及び物件補償と交差点改良工事を実施し、早期供用に向け予定どおり事業を実施した。 【成果指標】 ○事業進捗率 目標値：令和7年度 75% (令和6年度 55%) 実績値：令和7年度 75% (令和6年度 60%)	円 375,494,000	円 189,705,488	円 52,734,000	円 11,615,000	円 38,800,000	円 28,161,723	円 58,394,765
			R7→R8繰越 187,008,000	173,078,000	76,516,000	0	61,000,000	9,540,000	26,022,000

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 8款 土木費 4項 都市計画費 1目 都市計画総務費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
都市計画課	狭あい道路整備等推進事業	【事業の目的・内容】 幅員4m未満の狭あいな道路を拡幅整備することで、住民の日常生活における利便性及び安全性の向上、災害時等における緊急車両の通行路確保、建築又は開発行為における接道要件の解消を図る。 【成果】 スムーズな用地確保のため、地権者からの質問（専門的知識を必要とする場合がある）に対し、速やかな回答が必要となる。用地担当と工事担当が一緒に交渉することで、概ね予定した用地確保ができた。 ○主な事業 石田地区 ・工事請負費 道路拡幅工事その2（完了払・繰越）L=302m 39,942,400円 ・用地購入費 用地購入 N=10 4,368,840円 ・物件補償費 物件補償 N=10 7,593,697円 平井地区 ・工事請負費 道路拡幅工事その1（完了払・繰越）L=197m 26,206,000円 ・補償費 物件補償 N=1 986,928円 川田地区 ・委託料 用地測量委託L=160m 3,862,100円 【成果指標】 ○道路整備（R7 実績値：430m 目標値：96m） （R6 実績値：202m 目標値：555m） ○進捗率（R7 実績値：86.8% 目標値：91.5%） （R6 実績値：68.1% 目標値：91.5%） ○用地買収（R7 実績値：10件 目標値：3件） ○物件補償（R7 実績値：11件 目標値：2件）	円	円	円	円	円	円	円
			51,403,000	14,794,226	7,135,000	0	4,900,000	0	2,759,226
			繰越明許費 7,452,000		2,951,000	0	2,600,000	0	1,901,000
		R6→R7繰越	68,639,000	68,615,039	34,121,000	0	30,700,000	0	3,794,039

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 9款 消防費 1項 消防費 1目 常備消防費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
消防署	消防通信指令運用事業	【事業の目的・内容】 消防活動における通信網の安定供給を図ることを目的に老朽化した消防緊急通信指令施設を東三河消防通信指令事務協議会の更新計画に基づき実施した。 【成果】 緊急通報時の安定稼働と各署所に設置される指令台及び各車両への出動指令が確保され、市民サービスの向上に繋がった。 賃貸借期間は機器の構築期間を含めた令和6年度から令和12年度までである。 【成果指標】 消防緊急通信指令施設の賃貸借 目標値：1式 実績値：1式	円 115,271,000	円 113,972,595	円 0	円 0	円 0	円 500,000 (高速自動車国道救急支弁金) 2,882,710 (津具単独経費) 36,090,346 (広域消防事務費負担金)	円 74,499,539

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 2項 小学校費 1目 学校管理費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
教育政策課	小学校管理事業	【事業の目的・内容】 バasketゴール点検（令和4年度実施）において指摘された庭野小学校の屋内運動場に設置してある吊り下げ式及び壁面式Basketゴール装置の更新を行い、安全な体育事業環境を図る。 【成果】 設備の更新を行うことで安全な体育授業環境が図られた。	円 7,116,000	円 6,710,000	円 0	円 1,000,000	円 0	円 0	円 5,710,000

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 2項 小学校費・3項 中学校費 2目 教育振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
教育政策課	I C T活用教育推進事業	【事業の目的・内容】 小・中学校で「1人1台端末」で使用する i P a d 端末を配布し I C Tを活用した授業に役立てる。 【成果】 設備の更新を行い、引き続き I C T活用教育を推進した。	円 39,354,000	円 29,270,310	円 0	円 0	円 0	円 0	円 29,270,310

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育指導費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
					特 定 財 源				一般財源	
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
教育政策課学校教育指導室	外国人児童生徒教育推進事業	【事業の目的・内容】 日本語が理解できないことで困り感をもっている外国人児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、短期集中型の日本語初期指導を行った。また、外国人児童生徒の保護者に対し、通訳業務スタッフを配置した。 【成果】 外国人児童が増加している新城小学校と千郷小学校を拠点校とし、指導員を各校1名配置し、短期集中型の指導を行った。新規入室児童生徒に対しては、愛知県教育委員会義務教育課作成の「生き生きと学校生活を送るために～120時間（60日）プログラム～」等を活用して、個に応じた支援をすることができた。 120時間プログラムを終えても、引き続き支援が必要な児童生徒については、学校内の日本語指導教室での学びと連携して、個に応じた指導を継続して行っている。日本語が理解できず不安が大きかった児童生徒にも少しずつ自信が付き、さまざまな活動に前向きに取り組む姿が見られるようになった。 また、ポルトガル語3名、タガログ語1名の外国人児童生徒等支援員が、各校で通訳・入り込み支援・日本語指導補助、保護者対応を行った。日本語指導教室未設置校6校においても、通訳・入り込み支援・日本語指導補助・配付文書翻訳等の保護者対応を行い、児童生徒だけでなく、保護者、担当教員の不安等が軽減された。 【成果指標】 R7目標値「きぼう」受け入れ率100% （R6目標値 100%） R7実績値「きぼう」受け入れ率100% （R6実績値 100%） ○日本語初期指導教室「きぼう」 R6新規入室児童生徒数：7人 新城小 1人、千郷小 2人、東郷西小 2人 新城小 1人、千郷中 1人 ○日本語初期指導教室「きぼう」 R7在籍児童生徒数：8人 新城小 1人、千郷小 2人、東郷西小 2人 新城小 2人、千郷中 1人 R7目標値 外国人児童生徒対応スタッフの配置 母国語に対応できるスタッフ 4人（R6目標値 3名） R7実績値 外国人児童生徒対応スタッフの配置 母国語に対応できるスタッフ 4人（R6実績値 3名） ○外国人児童生徒等支援員 （ポルトガル語2名）（タガログ語 1名） 派遣校8校 新城小、千郷小、東郷西小、東郷東小 八名小、作手小、新城小、千郷中	円 3,513,000	円 2,979,989	円 0	円 600,000	円 0	円 0	円 0	円 2,379,989

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育指導費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
教育政策課 学校教育指導室	シスタースクール制導入事業	【事業の目的・内容】 生徒数の減少により部活動が成立しなくなりつつある中、可能な限り多様なスポーツ、文化芸術活動に親しめる選択肢を確保するため、シスタースクール制を導入し、それに係る生徒の移動費用を交付した。 【成果】 市内4校の生徒が庁用バスやSバス、J R等の公共交通機関を利用し、授業後に学校間を移動して部活動を実施した。6種目（軟式野球、バスケットボール女子、バレーボール男子、弓道、剣道、吹奏楽）でシスタースクール制が活用され、各学校でチームを編成することが難しかった生徒の活動の場を確保することができた。 人数内訳 東郷中学校（庁用バス利用） 女子バスケ5名 × 29日 軟式野球 5名 × 26日 剣 道 1名 × 26日 八名中学校（Sバス利用） 軟式野球 7名 × 13日 女子バスケ7名 × 14日 男子バレー3名 × 10日 弓 道 1名 × 1日 鳳来中学校（豊鉄バス・J R利用） 女子バレー8名 × 23日 作手中学校（Sバス利用） 吹奏楽 1名 × 30日	円 2,011,000	円 87,130	円 0	円 0	円 0	円 0	円 87,130

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 5項 保健体育費 3目 学校保健費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
教育政策課学 校教育指導室	衛生管理事業	【事業の目的・内容】 学校保健の普及啓発、調査研究、学校保健関係者の研修等の事業の運営を委託した。令和7年度は東三河学校保健研究大会が新城市で開催されたため、事務局を務めた。その他、在学児童生徒の健康診断及び就学时健康診断の実施に伴う学校医への報酬等を支払った。 【成果】 ○東三河学校保健研究大会 「心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進」を研究主題として、新城文化会館で「第43回東三河地区学校保健研究大会」を行った。 当日は、東三河地区だけでなく、西三河地区からも学校保健会に携わる多く方の参加があった。記念講演として、株式会社エスケイケイ代表の麓 聡一郎氏をお招きし、「折れない心の育て方～自己肯定感・他者信頼感を高める動機づけ～」をテーマに講演していただいた。また、新城市の学校保健に関する取り組みを書面により提案し、意見交流を行った。参加者からは、多くの学びがあり、学校現場での保健指導に生かしたいという意見があった。 ○学校医報酬支払い 前期・後期分について、予定どおり支払い済み。 内科医：17名（2名が2校兼務） 眼科医：2名（2名で旧新城地区の小中学校11校担当） 歯科医：11名（1名が4校、1名が3校、3名が2校兼務） 薬剤師：10名（3名が2校、3名が3校兼務） 【成果指標】 ○東三河学校保健研究大会 出席人数 150名	円 17,601,000	円 17,179,255	円 63,000	円 0	円 0	円 0	円 17,116,255

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 5項 保健体育費 3目 学校保健費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
教育政策課 学校教育指導室	学校プール運営事業	【事業の内容・目的】 市内11校（東郷西小学校、東郷東小学校、八名小学校、庭野小学校、鳳来中部小学校、東陽小学校、新城中学校、千郷中学校、東郷中学校、八名中学校、鳳来中学校）の体育科における水泳指導及び児童生徒の送迎について、安全なプール施設、指導業務及び移動手段を確保するために、学校プール運営事業を実施した。 人数内訳 ・ 東郷西小学校 229人 1年27人 2年34人 3年40人 4年37人 5年38人 6年42人 特別支援11人 ・ 東郷東小学校 142人 1年15人 2年22人 3年23人 4年18人 5年29人 6年22人 特別支援13人 ・ 八名小学校 191人 1年20人 2年32人 3年30人 4年30人 5年37人 6年33人 特別支援9人 ・ 庭野小学校 22人 1年6人 3年6人 5年3人 6年7人 ・ 鳳来中部小学校 132人 1年15人 2年11人 3年17人 4年20人 5年27人 6年35人 特別支援7人 ・ 東陽小学校 81人 1年6人 2年9人 3年8人 4年21人 5年12人 6年19人 特別支援6人 ・ 新城中学校 116人 1年53人 2年55人 特別支援8人 ・ 千郷中学校 190人 1年83人 2年91人 特別支援16人 ・ 東郷中学校 220人 1年72人 2年66人 3年72人 特別支援10人 ・ 八名中学校 116人 1年42人 2年30人 3年41人 特別支援3人 ・ 鳳来中学校 136人 1年63人 2年68人 特別支援5人	円 24,881,000	円 24,880,185	円 0	円 0	円 0	円 0	円 24,880,185

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
		【成果】 天候に左右されず計画的にプール授業が実施できた。また、専門インストラクターの指導及び泳力に応じたグループ別の指導により効率的に泳力の向上が図られた。 【成果指標】 東郷西小学校、東郷東小学校、八名小学校、庭野小学校 鳳来中部小学校、東陽小学校、新城中学校、千郷中学校 東郷中学校、八名中学校、鳳来中学校 R7目標値（1校あたり） ・小学生5回×6学年=30回 ・中学生4回×3学年=12回 ※庭野小の2、4年生は児童がいないため4学年となる ※新城中、千郷中、鳳来中は1、2年生が対象となるため、2学年となる。（R6目標値100%） R7実績値 100% ・小学生5回×6学年=30回 ・中学生4回×3学年=12回 ※庭野小の2、4年生は児童がいないため4学年となる ※新城中、千郷中、鳳来中は1、2年生が対象となるため、2学年となる。 ※対象児童生徒：1672人 （R6実績値100%）							

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 5項 保健体育費 4目 学校給食施設整備費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
学校給食課	学校給食施設改築事業	【事業の目的・内容】 老朽化している給食施設の建替と給食調理員の減少などの対応を踏まえ、令和6年9月から作手地区を除く17箇所の自校調理方式を共同調理方式へ転換した。 令和6年度末までに17校のうち新城小学校を除く16校の受入室を増築又は改修により整備し、令和7年度は新城小学校の受入室の増築を行う。この新城小学校の整備をもって、本事業による給食施設の整備は完了する。 【成果】 令和7年度現在、新城小学校の給食受入は学校校舎内の一室を整備した仮受入室にて行っている。本事業を実施し給食受入室を増築することで、より衛生的で安全な給食提供が可能となる。 給食受入室増築工事（新城小学校） 工期 R7.5.15～R8.5.9	円 138,016,000	円 104,207,200	円 0	円 0	円 68,800,000	円 0	円 35,407,200

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 5項 保健体育費 5目 学校給食費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
学校給食課	学校給食共同調理場運営事業	【事業の目的・内容】 令和6年9月に稼働した新城市学校給食センター及び作手学校給食センターを安定的に管理運営するために必要な業務委託を実施し給食提供を行った。 また、共同調理場の利点を生かした新たな献立の開発・導入に努めた。 【成果】 給食提供実績 延べ給食提供数 593,761食 給食提供日数 191日 【成果指標】 ○新規献立の実施数 目標値：令和7年度 1件以上 (令和6年度 1件以上) 実績値：令和7年度 4件 (令和6年度 4件) ○新規献立 (R7：4月) 新じゃがとレタスのスープ (R7：9月) ハニーマスタードチキン (R7：10月) ツナピラフ (R8：1月) 鶏肉とじゃがいものしんしろ茶揚げ	円 505,526,000	円 488,735,437	円 0	円 0	円 0	円 179,140,643	円 309,594,794

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 4項 社会教育費 2目 文化振興費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
生涯共育課	地域文化広場改修事業	【事業の目的・内容】 目的：文化会館大小ホールの吊物昇降装置について、老朽化した状態を改善し、利用者に物理的被害が生じないように対策した。 事業内容：文化会館の大小ホールの電動及び手動の吊物装置の改修工事 【成果】 改修工事を行ったことにより、ホールの運用を安全かつ円滑に行えるようになった。 【成果指標】 令和7年度目標値： 大小ホール電動吊物昇降装置改修 一式 大小ホール手動吊物昇降装置改修 一式 令和7年度実績値： 大小ホール電動吊物昇降装置改修 一式 大小ホール手動吊物昇降装置改修 一式	円 168,432,000	円 146,256,000	円 0	円 0	円 131,600,000	円 0	円 14,656,000

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 4項 社会教育費 3目 文化財保護費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
生涯共育課	鳳来寺山自然科学博物館運営事業	【事業の目的・内容】 博物館の展示・教育普及、調査研究、資料収集・保存活動を行う。 ・展示活動では、特別展を4回開催。 〈特別展〉 観覧人数計7,799人 ①春「星空への招待―深宇宙・銀河への旅」 令和7年4月1日～5月12日 観覧人数1,310人 ②夏「新城、日本、世界のカタツムリ展」 令和7年6月1日～9月7日 観覧人数3,416人 ③初秋「きのこ展」 令和7年9月21日～9月23日 観覧人数196人 ④秋・冬「草木染め展」 令和7年10月18日～令和8年1月18日 観覧人数2,877人 ・教育普及活動では、野外学習会等を7回開催。 〈野外学習会等〉 参加者数計169人 ①「長篠周辺の春の植物」R7.4.26 参加者12人 ②「昆虫を探そう」R7.4.27 参加者20人 ③「しんしろこげざんまい」R7.7.20 参加者14人 ④「海老・谷川の生きもの」R7.7.27 参加者30人 ⑤「海の砂から生きものをさがそう」R7.8.10 参加者35人 ⑥「初秋のきのこ観察会」R7.9.20 参加者29人 ⑦「野鳥観察会」R8.1.11 参加者29人 〈執筆・出版活動〉館報55号の発行 【成果・成果指標】 前年度比5%増の入館者数を目指し、新たに期間限定展示（めでたい7、鉱物の花園、博物館カード、アニマル苔展）を4回開催、博物館カードの配布等を試みた。入館者数は、前年度比で約30%増加となった。豊かな自然に接する展示及び野外学習会等を行い、郷土の自然に対する理解と愛着を深めることができた。 ○入館者数 目標値：令和7年度 8,200人 （令和6年度 9,100人） 実績値：令和7年度 10,109人 （令和6年度 7,765人）	円 1,484,000	円 1,221,621	円 0	円 269,000 （あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金）	円 0	円 382,700 （出版物頒布代金） 20,700 （講座参加者受講料） 13,800 （入場券等販売手数料）	円 535,421

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 4項 社会教育費 3目 文化財保護費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
歴史文化課	長篠・設楽原の戦い450年 記念事業	【事業の目的・内容】 令和7年度は長篠・設楽原の戦いから450年という大きな節目を迎えた。このことを記念して記念事業として下記の事業を実施した。 ○戦国博覧会 8/30～8/31 ○鉄砲サミット 11/29～11/30 ○記念グッズなどの作成と販売 【成果】 8月に開催した戦国博覧会では日本戦国史の著名な講師を招聘し、講演会を実施したことで、この地域の歴史文化に関心のある方々に最新の歴史研究の一端を紹介することができ、新城市への関心をより深めることができた。また、同時に開催した歴史紹介や物販ブースや音楽会などにより歴史への関心が薄い方々にも来場を促すことができ、歴史への関心を促すことができた。 11月に開催した鉄砲サミットでは、日本銃砲史学会とともに開催することで、長篠・設楽原の戦いが鉄砲の戦いであるということを古式銃砲の研究団体に周知することができ、火縄銃演武を通して一般の方も楽しめる機会を提供することができた。 【成果指標】 ○戦国博覧会 2,900名（来場者数） ○鉄砲サミット 300名（参加者数）	円 3,616,000	円 1,814,766	円 0	円 0	円 0	円 907,383 (みんなのまちづくり基金)	円 907,383

令和7年度決算に係る主要施策成果報告書

一般会計 10款 教育費 4項 社会教育費 3目 文化財保護費

所 属 名	主要施策の事業	事 業 内 容 ・ 成 果	予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
					特 定 財 源				一般財源
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
歴史文化課	設楽原歴史資料館管理運営事業 長篠城址史跡保存館管理運営事業	【事業の目的・内容】 全国的に有名な長篠・設楽原の戦いについて、様々な史料や点在する史跡の紹介、イベントを通して広く全国に周知を行い、新城への来訪者を増やす。 【成果】 設楽原歴史資料館では2回、長篠城址史跡保存館では3回の企画展を実施した。また、長篠・設楽原の戦い450年に関連して資料館では10回の連続講座を実施し、多くの方々に足をお運びいただいた。 【成果指標】 ○設楽原歴史資料館入館者数 目標値：令和7年度 25,000人 (令和6年度 25,000人) 実績値：令和7年度 21,450人 (令和6年度 21,606人) ○長篠城址史跡保存館入館者数 目標値：令和7年度 25,000人 (令和6年度 25,000人) 実績値：令和7年度 21,695人 (令和6年度 22,212人)	円 26,538,000	円 24,399,614	円 0	円 0	円 0	円 15,704,738 (内訳) 入館料 資料館 4,745,100 保存館 5,346,700 その他収入 5,612,938	円 8,694,876
			資料館 15,817,000	資料館 15,063,867					
			保存館 10,721,000	保存館 9,335,747					